

仕 様 書

IP対応PBX

IP OFFICE Mx

2012年3月

パナソニックCCソリューションズ株式会社

1. 概要

1-1. 特徴

IP OFFICE MX は、電話網と LAN 網を一つのシステムに統合し、IP(Internet Protocol)ネットワーク上で音声とデータを統合したサービス環境を提供するものである。

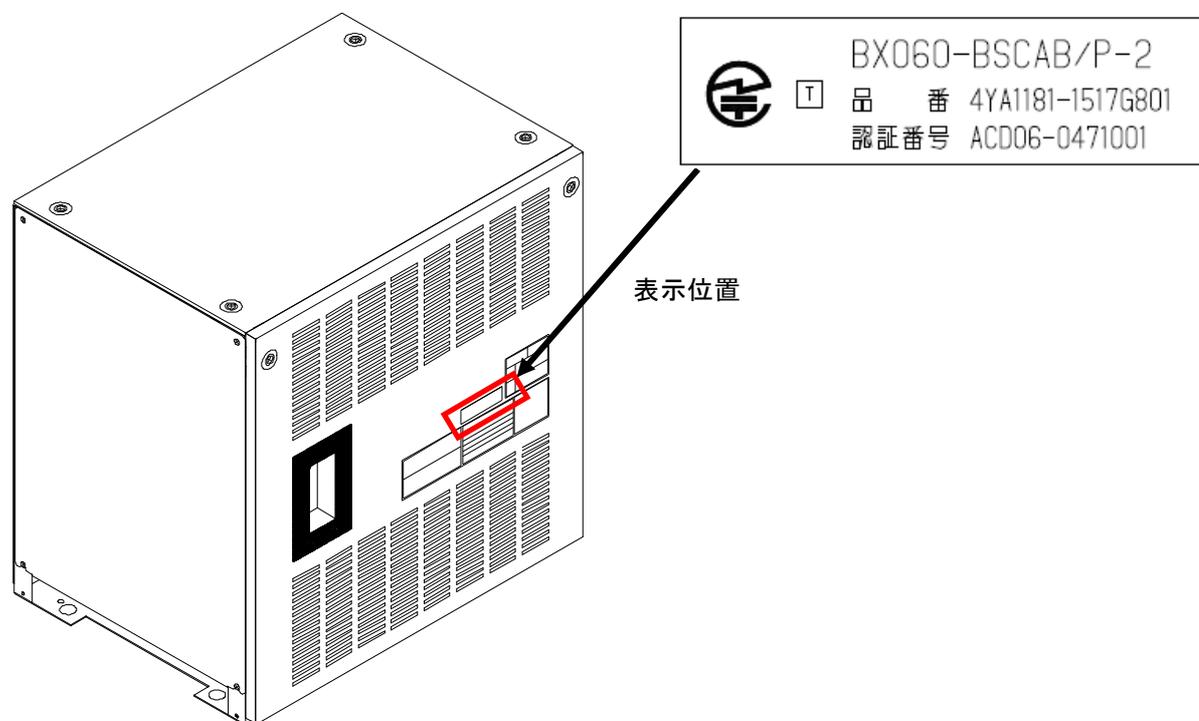
システムの主な特徴を以下に示す。

- 音声パケットの生成・複合により音声・データ統合サービス環境を提供する。
- LAN と公衆電話網/ISDN/IP 専用線、公衆電話網との音声相互接続機能を提供する。
- 停電時対策として専用バッテリー（オプション）を接続可能とし、電源バックアップ機能を備える。
- バッテリー運用切替時に、データ自動バックアップ機能を提供する。
- 停電バックアップ時間を超過したとき、緊急外線直通切替え機能を提供する。
- Web 保守機能を有する。

1-2. JATE 認定番号

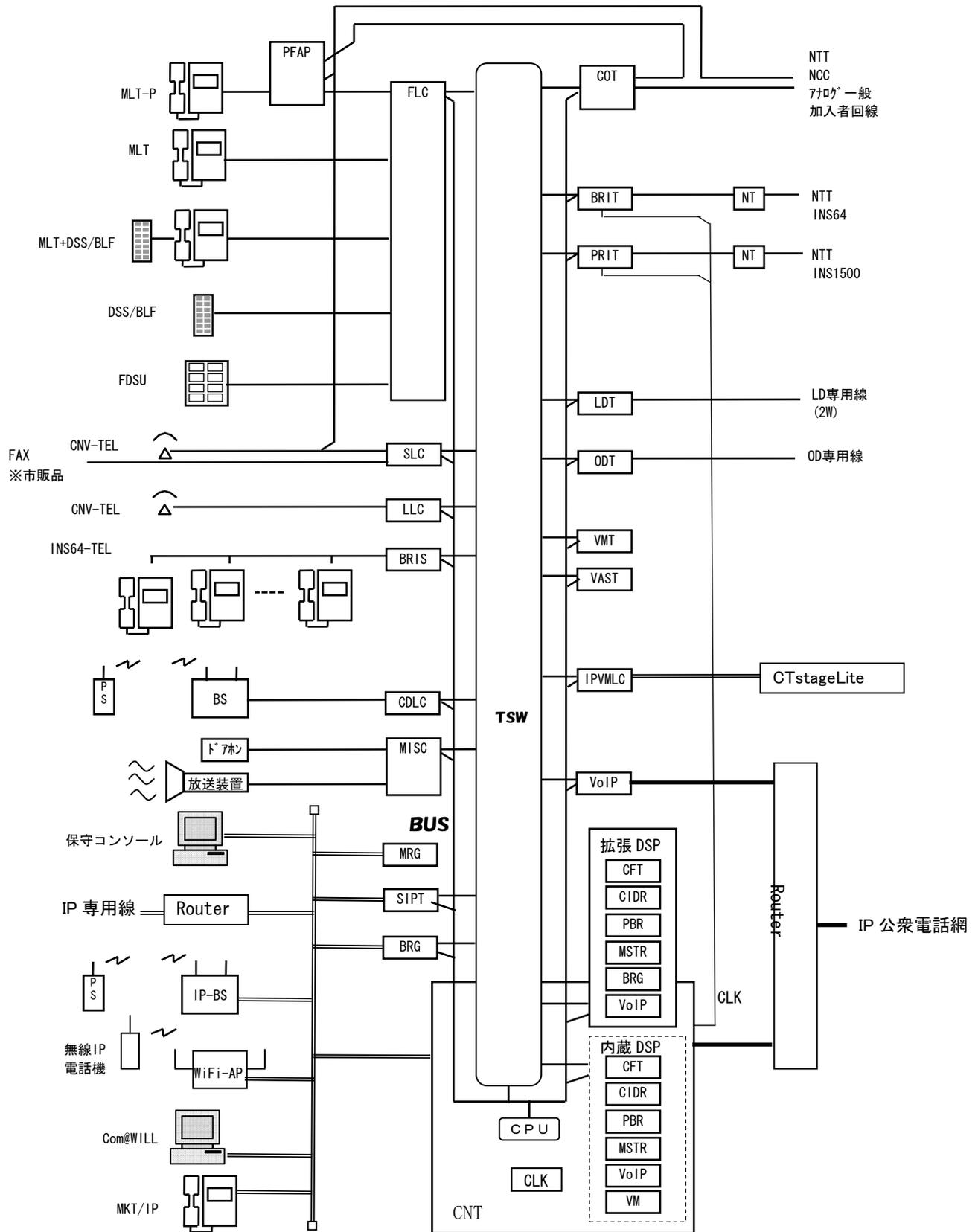
ACD06-0471001

品名紙の表示例



2. システム構成

2-1. システム系統図



LAN 図 2-1. システム系統図

略号説明

略号	説明	略号	説明
CNT	制御部	LLC	長距離内線回路
BRG	VoIP-TSW 2MHWインタフェース	MISC	ドアホンi/f、放送結合
BRIS	INS64 (基本レイト) 端末収容内線回路	MKT/IP	IP多機能電話機
BRIT	INS64 (基本レイト) 網接続トランク	MRG	課金トランク
WiFi-AP	VoIP対応無線LANアクセスポイント	MSTR	音声メッセージトランク
BS	PHS基地局装置	ODT	OD専用線トランク
CDLC	BS接続用インタフェース回路	PBR	PB信号受信部
CFT	会議トランク	PRIT	INS1500 (一次群速度) インタフェーストランク
CIDR	デジタル信号受信トランク	PS	PHS子機
CNV-TEL	アナログ一般電話機	SIPT	SIP専用線用ブリッジパッケージ
LDT	LD専用線トランク	SLC	アナログ一般内線回路
COT	アナログ外線トランク	TSW	時分割スイッチ
Com@WILL	Com@WILLソフトフォン	VAST	ガイダンス/PB受信/デジタル受信/会議の何れか
NT	網終端装置	VM	内蔵ボイスメールトランク
拡張DSP	IP公衆電話回線/サービス拡張ユニット	VMT	ボイスメールトランク (パッケージ)
INS64-TEL	INS64電話機/端末機器	VoIP	IP公衆電話回線トランク
IP-BS	IPインタフェースのPHS基地局装置	BLF	24キー増設ユニット
FLC	デジタル内線回路	DSS	集中受付装置
MLT	デジタル多機能電話機	FDSU	状態表示盤
MLT-P	停電対応デジタル多機能電話機	IPVMLC	CTstgaeLiteインタフェースパッケージ (ボイスメール用)

2-2. システム容量

(1) システムサービス容量

項目	容量	備考
收容ポート数	128	
ユニット收容数	2	基本ユニット:1台+増設ユニット:1台
トランク最大收容数	128	收容ポート数の範囲内
内線最大收容数	128	PHS、MKT/IPも含む。收容ポート数の範囲内
ISDNトランクインタフェース数	32 (BRIインタフェースの場合)	收容ポート数の範囲内
ISDN内線インタフェース数	24	收容スロット数の範囲内
ドアホン数	4	同時使用可能数:2
放送装置接続数	4	
外部保留音接続数	2	
発ID受信回路数	56	同時使用可能回線数 VAST(CIDR)機能
メッセージ(ガイダンス)録音再生回路数	56	同時使用可能回線数 VAST(MSTR)機能
番号計画	4桁まで展開	
外線/専用線方路数	128	
MSA数	512	
DGLグループ数	100	
DIID群数	16	
DIID番号桁数	8	
DIID登録エリア総数	1024	
個別発番号登録桁数	32	
固定短ダ方路数	1000	
フレキシブルオート登録数	内線毎に24個	MKT/IP-30DKWHF-V2-Pは32個、MKT/IP-30DKWHFWL/02-Pは32個まで拡張可能
ISDN広域システム閉番号方路数	64	
ID数	2048	
ID個別短縮ダイヤル	ID毎に10	
会議トランク数(CFT)	28会議	1会議につき4者通話まで VAST(CFT)機能
グループ音声呼びグループ数	100	
ピックアップグループ数	100	
内線代表グループ数	256	1グループあたり32回線
クラス切替えグループ数	256	
夜間切替えグループ数	256	
パーク保留グループ数	256	
パーク保留グループ内保留数	6	
システムパーク数	4	
最大 PHS 基地局 收容数	PHS 基地局 32 IP 対応 PHS 基地局 32	
最大 PHS 收容数	128	
最大 VMT 收容ポート数	8	
メールボックス数	50 500	内蔵 VMT 使用時
最大 IPVMLC 收容枚数	8	
SIP 専用線收容数	512	基本メモリ搭載時は128

(2) ハードウェア回線容量

項目		初実装	初実装+ 拡張 DSP	初実装+ 拡張 DSP+ 基本ユニット	初実装+ 拡張 DSP+ 基本ユニット+ 増設ユニット	
スロット数		-	-	6	12	
最大回線容量	総ポート数 ※1	-	-	64	128	
	内線系	IP 内線電話機 ※2	-	-	128	128
		一般電話機	-	-	48 ※3	96 ※3
		一般電話機(長距離)	-	-	12	24
		多機能電話機	-	-	48 ※3	96 ※3
		ISDN(64k)内線	-	-	12	24
		PHS 基地局 ※4	-	-	32(16)	32(32)
		IP 対応 PHS 基地局	-	-	32	32
		PHS 端末	-	-	128	128
	ドアホン ※5	-	-	4	4	
	外線系	IP 公衆電話外線 ※9	2ch ※6	14ch ※6	22ch	30ch
		一般アナログ外線	-	-	48	96
		INS ネット 64	-	-	16	32
		INS ネット 1500	-	-	2	4
		OD 専用線	-	-	24	48
		LD 専用線	-	-	12	24
	ボイスメール	内蔵	2ch 2 時間 ※6,7,8	2ch 2 時間 ※6,7,8	2ch 2 時間 ※6,7,8	2ch 2 時間 ※6,7,8
		VMT	-	-	8ch120 時間 ※7	8ch120 時間 ※7
		IPVMLC	-	-	64ch ※7,10	64ch ※7,10
	発 ID 受信回路		4	8	56	56
IP-TSW 変換回路(IP 内線用)		-	12ch ※6	28ch	44ch	
SIP 専用線用ブリッジパッケージ		-	-	16ch	32ch	
PB 受信回路		4	8	56	104	
電話会議(4 者会議)		2	4	16	28	

項目	初実装			初実装+拡張 DSP								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
IP 公衆電話外線※9	-	2ch	-	-	2ch	6ch	10ch	14ch	-	4ch	8ch	12ch
内蔵ボイスメール	-	-	2ch	-	-	-	-	-	2ch	2ch	2ch	2ch
IP-TSW 変換回路	-	-	-	12ch	12ch	8ch	4ch	-	12ch	8ch	4ch	-

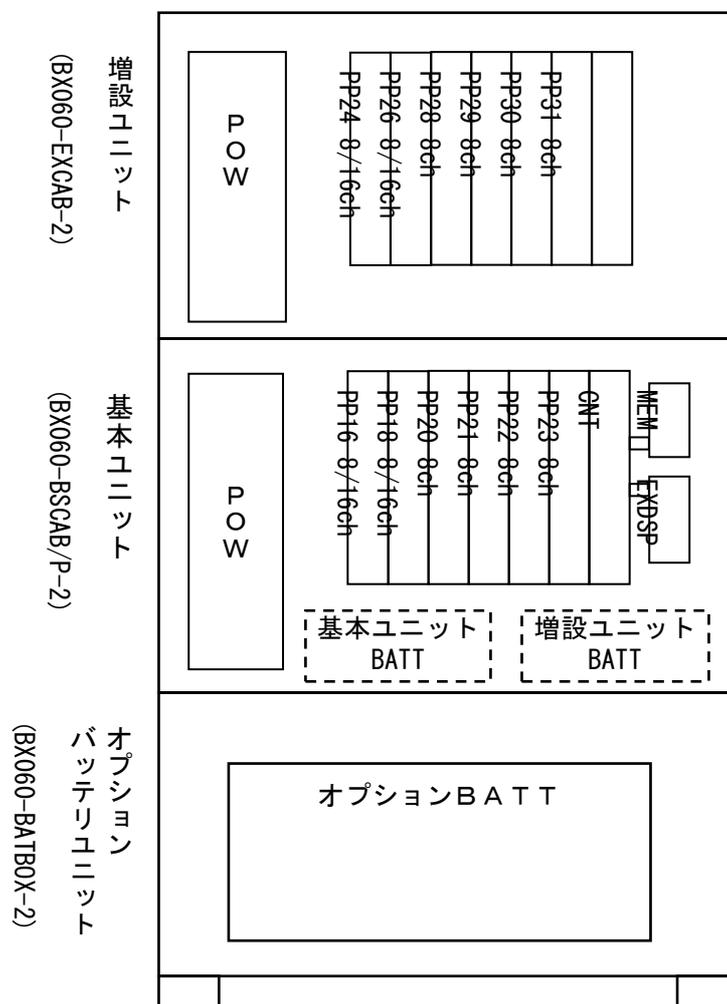
※灰色の列は初期設定

※実際に收容する際は搭載条件及び消費電流を考慮する必要があります。

- ※1: 最大回線容量は搭載されるパッケージ種類の組合せにより変動します。
- ※2: IP 内線電話機には、IP 多機能電話機、Com@WILL ソフトフォン、無線 IP 電話機を含みます。
- ※3: ユニットあたり 64 ポートまで実装可能ですが、接続端末や同時通話数などの条件により最大消費電力を超える場合があります。システムダウンや電源寿命劣化の原因となります。
多機能電話機については接続端末により接続数が異なります。「5. IP OFFICE MX の見積もり方法」を参照して下さい。
- ※4: ローカル給電を含めた場合の收容数。(BS1 台につき最大 3 通話)
()内はセンタ給電時の收容数。詳細は、「5. IP OFFICE MX の見積もり方法」を参照。
- ※5: 同時通話可能数は最大 2 通話です。
- ※6: IP 公衆電話外線、内蔵ボイスメール、IP-TSW 変換回路のチャネル数は、設定により下表の組合せで使用できます。
(初実装、初実装+拡張 DSP)
- ※7: ボイスメールは内蔵、VMT(パッケージ)、IPVMLC(パッケージ)の同時使用はできません。いずれか一つになります。
- ※8: 内蔵ボイスメール 2ch を使用した場合、ポート数は 4 ポート使用します。
- ※9: 初実装の IP 公衆電話外線 2ch は、IP 公衆電話外線と一般アナログ外線の公-公接続する場合、通話にエコーを感じる場合がありますので使用しないでください。この場合、IP 公衆電話外線の最大容量は 28ch となります(初実装:0ch、初実装+拡張 DSP:12ch、初実装+拡張 DSP+基本ユニット:20ch、初実装+拡張 DSP+基本ユニット+増設ユニット:28ch)。
- ※10: 通話録音時間は、CTstageLite 側のディスク容量で決まります。

(3) システム構成

IP OFFICE MXのユニット構成を下図に示す。



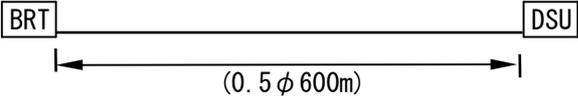
		基本ユニット	基本ユニット+増設ユニット
外形寸法 (W×H×D:mm)	本体装置	BX060-BSCAB/P-2 : 約 382 × 399 × 274	BX060-BSCAB/P-2 + BX060-EXCAB-2: 約 382 × 793 × 274
	オプションバッテリーユニット	BX060-BATBOX-2: 約 382 × 235 × 274	
質量	本体装置	約 20kg	約 39kg
	オプションバッテリーユニット	約 30kg	

2-3. システム仕様

項目		仕様・適用条件	備考
方式	交換方式	デジタル電子交換方式	
	制御方式	蓄積プログラム制御方式	
	通話路スイッチ構成	(PCM-T1 段/ノンブロック SW+IP ソフト SW) 型ハイブリット方式	
	冗長構成	1重構成	
	プログラム、データ蓄積方式	Flash Memory 蓄積方式 1重構成	
制御装置		32ビットマイクロプロセッサ	
主装置構造		自立型 ビルディングブロック	
トラヒック条件		6HCS/内線	
設置環境	温度	バッテリー内蔵時 0～+35℃ バッテリー未使用時 0～+40℃ バッテリーBOX使用時 0～+40℃	
	湿度	20～85% 結露のないこと	
選択信号種別		DP (10pps、20pps)、PB	
收容回線	アナログ外線	技術基準等適合	
	PBX内線	PBXの收容条件内	
	INS64回線	表2-3-1参照	
	INS1500回線	表2-3-2参照	
	IP公衆電話回線	NTTひかり電話ビジネスタイプ收容 NTTひかり電話オフィスタイプ(NGN)收容 (LANインタフェース)	
	SIP専用線	RFC3261～3264+沖独自仕様	
收容端末・付属機器	一般電話機	技術基準等適合端末	
	ISDN対応端末	技術基準等適合端末 (基本インタフェース)	
	ファクシミリ	技術基準等適合端末 (G3)	
	多機能電話機	F型端末 (パナソニックシステムネットワークス社製)	
	IP電話機	当社製品 (専用端末) [10BASE-T/100BASE-TX]	
	PHS 端末	専用基地局: UF7100, UF7200IP 子機: VB-C911A (パナソニックシステムネットワークス社製)、UM7700 (沖電気製) 他	
	無線アクセスポイント	専用アクセスポイント: BR2102	
	ソフトフォン	Com@WILL (Windows XP、Windows Vista、Windows7)	
	ドアホン	市販品	
	放送設備	市販品	
	外部保留音源	市販品	
USBメモリ	推奨品		

項目		適用条件・仕様
電源	入力電源	BX060-BSCAB/P-2 : AC90-110[V]、50/60±2[Hz]
	消費電力（負荷側）	基本ユニット：約 120[W] 基本ユニット+ 増設ユニット：約 240[W]
	最大電流	基本ユニット：約 3.6[A] 基本ユニット+ 増設ユニット：約 7.2[A]
	突入電流	typ. 20[A]以下 (I _o =100%) コールドスタート時
リング出力		67[Vrms]、18[Hz]
データバックアップ		Flash Memory にてバックアップ
停電対応	標準バッテリー	主装置内収容
	長時間バッテリー	別設置のバッテリーボックス内収容
	バックアップ時間	標準バッテリー：約 10 分 長時間バッテリー（別設置）：約 3 時間 (*) 上記値は最短時間になります。搭載条件によってバックアップ時間は変化します。
	充電時間	標準バッテリー：約 8 時間 長時間バッテリー（別設置）：約 170 時間
	バッテリー交換	約 3 年
	直通切替端末	デジタル多機能電話機（アナログ回線停電用）
	直通切替回線	工事布線により外線と内線を組合せる
空冷方式		自然空冷
EMI 自主規格		VCCI クラス A

表 2-3-1 基本インタフェース [対 DSU インタフェース諸元] (TTC 標準準拠)

項目	仕様
インタフェース構成	多重チャンネル構成 : 2B+D (B=64kb/s、D=16kb/s)
接続数	メタリック平衡ケーブル : T 線 1 対、R 線 1 対 (4 線)
配線構成及び伝送距離	<p>ポイント__ポイント配線構成</p> <p>Loss=6dB at 96kHz</p>  <p>ポイント__マルチポイント配線構成も可</p>
伝送速度	192kb/s 許容偏差±100ppm
伝送符号	100%AMI 符号
フレーム構成	48bit/Frame
起動・停止	常時起動・方式
D チャンネル・アクセス制御	エコーチェック方式
入出カインピーダンス	100Ω ±5%
出力電圧	0.75Vo-p
受電電力	無し(パワーソース 1 無し)
給電電力	無し(パワーソース 3 無し)

(注) 詳細は JT-1430 基本ユーザ網インタフェース参照
(JT-1430 : TTC 標準勧告番号)

表 2-3-2 一次群インタフェース [対 DSU インタフェース (T 点インタフェース) 諸元]

(TTC 標準準拠)

項 目		仕 様
方式 構成 条件	チャンネル構造	● 23B+D (B=64kb/s、D=64kb/s)
	信号チャンネル形式	共通チャンネル方式
	情報速度	Bch : 64kb/s Dch : 64kb/s
物理 構成 条件	伝送媒体	メタリック平衡ケーブル
	線数	4 線 (T 線、R 線)
	コネクタ	2 芯コネクタ × 2 (標準規定なし)
	配線形態	1 対 1
	最大伝送距離	6dB at 772kHz (通常 300m)
電 気 的 条 件	伝送速度	1544kb/s ± 50ppm
	伝送符号	B8ZS
	フレーム構成	● 193bit/Frame ● 8kHz 繰り返し ● 24 マルチフレーム
	フレーム同期	フレームパターン (前方保護 4 段、後方保護 2 段)
	出力電圧	3Vo-p ± 0.7V (ITU-T G703 パルスマスクによる)
	入力電圧	1.15 ~ 3.7Vo-p
	入出カインピーダンス	100Ω
	レベル	772kHz の電力 +12dBm ~ 19dBm 1544kHz の電力 772kHz の電力に対し少なくとも 25dB 以下
レイヤ 1 起動方式		常時起動

(注) 詳細は JT-431 一次群速度ユーザ網インタフェース参照

(JT-431 : TTC 標準勧告番号)

専用線の線路距離制限

回線種別	抵抗目安 [Ω]	最大距離目安 [m]			記事
		0.4φ	0.5φ	0.65φ	
OD	300	1,000	1,600	2,600	実用値
		280	350	450	
LD	3,000	8,600	13,600	22,600	実用値
		8,200	10,500	13,500	

F型端末接続距離制限

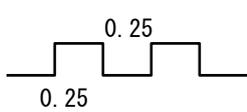
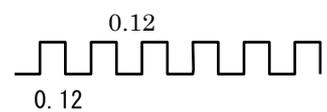
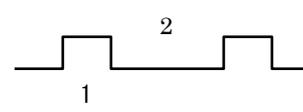
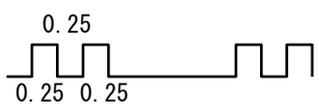
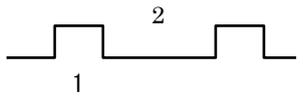
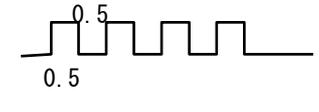
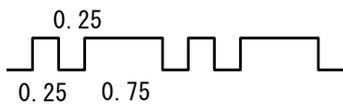
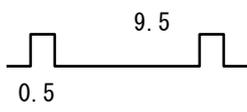
		ループ抵抗	0.4mmφ	0.5mmφ	0.65mmφ	備考
VB-F411KA	12キ-漢字	60Ω以下	190m	305m	515m	2線シタ給電
VB-F611KA	24キ-漢字					
VB-F611KPA	24キ-漢字停電用					
VB-F411NA	12キ-数字					
VB-F331A	24キ-増設ユニット	40Ω以下	125m	200m	340m	
VB-F631A	集中受付装置					
VB-F081A	状態表示盤(基本部)					
VB-F081A +VB-F082(1台)	状態表示盤(基本部) +状態表示盤(増設部)					
VB-F081A +VB-F082(2台)	状態表示盤(基本部) +状態表示盤(増設部)					
VB-F611KA +VB-F631A	24キ-漢字 +集中受付装置	30Ω以下	95m	150m	255m	
VB-F611KA +VB-F331A	24キ-漢字 +24キ-増設ユニット					
VB-F411KA +VB-F631A	12キ-漢字 +集中受付装置					
VB-F411KA +VB-F331A	12キ-漢字 +24キ-増設ユニット					
VB-F611KC	カルコードレス					
						2線シタ給電

端末接続距離制限

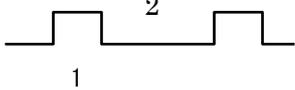
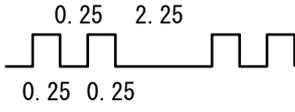
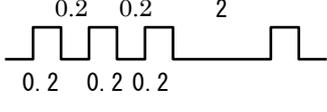
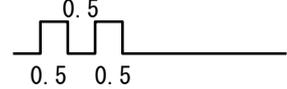
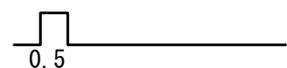
端末種別		ループ抵抗	0.4mmφ	0.5mmφ	0.65mmφ	備考
一般電話機	一般内線	最大 400Ω以下 電話機内部抵抗含	330m	530m	880m	電話機内部抵抗を 300Ωとした場合 DP/PB 同一
	長距離内線	最大 3000Ω以下 電話機内部抵抗含	9150m	14430m	23890m	電話機内部抵抗を 300Ωとした場合 DP/PB 同一
ドアホン	VL-568	20Ω以下	60m	100m	170m	2線シタ給電
基地局	UF7100(BS)	150Ω以下	520m	820m	1300m	2線シタ給電
			1000m	1600m	2000m	4線シタ給電

線路抵抗 0.4φ : 295Ω/km LOOP
 0.5φ : 187Ω/km LOOP
 0.65φ : 113Ω/km LOOP

可聴表示 (1/2) (F型多機能電話機/IP多機能電話機/アナログ単独電話機)

名称	略号	周波数 (Hz)	インタ (sec)	用途	備考
内線発信音	PDT	400		内線発信用	
特殊発信音	SDT	400		付加番号 DID	
連続発信音	CDT	400	連続		
呼出中音	RBT	400/20			
特殊呼出中音(1)	SRBT1	400/20			
特殊呼出中音(2)	SRBT2	500/20		付加番号 DID	
話中音	BT	400			
接続規制音	ROT	400			
保留音	HT	—	音楽(連続)		
割り込み音	IT	1000		キャッチホン通話 中着信	
ページング用 チャイム	PGCM	—	チャイム		

可聴表示 (2/2) (F型多機能電話機/IP多機能電話機/アナログ単独電話機)

名称	略号	周波数 (Hz)	インタ (sec)	用途	備考
アナログ単独 電話機着信音	IR	—			75V _{0-P} 18Hz
	SIR	—			アナログ 単独電話 機のみ
	TIR	—			
登録完了音	CPT	—			
エラー音	ERT	—			
バースト音	BST	—		通話中着信 内線キャッチホン	
ハウラー音	HWT	2000/10	連続		

“—” 記載箇所については接続端末側の音源による。

(IP OFFICE 本体からの指示により接続端末側の音源を使用して音を鳴らす)

(1/3) 可視表示 (F型多機能電話機)

状 態	該当キー	F型多機能電話機		備 考
		操作TEL	非操作TEL	
外線空き 専用線空き	外線キー	滅 灯	滅 灯	該当外線空き
	発信キー	滅 灯	滅 灯	該当方路空き
	MSA キー	滅 灯	滅 灯	該当方路空き
外線使用中 専用線使用中	外線キー	緑ダブルウイंक 点滅	赤点灯	該当外線使用中
	発信キー	—	—	該当発信方路全使用中は赤点灯
	MSA キー	緑ダブルウイंक 点滅	赤点灯	該当 MSA 使用中
外線発信 専用線発信 および通話中	外線キー	緑ダブルウイंक 点滅	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	発信キー	—	—	該当発信方路全使用中は赤点灯
	MSA キー	緑ダブルウイंक 点滅	赤点灯*	*使用中表示可能な MSA
外線着信中 専用線着信中 (一般)	外線キー	—	赤速い点滅	応答可
	応答キー	—	赤速い点滅	応答可
		—	滅 灯	応答不可
外線着信中 専用線着信中 (指定着信) (DIL, PBX ダイヤ ルイン不可番号 DID 着信)	外線キー	—	赤速い点滅	応答可
		—	赤点灯	応答不可、使用中表示可能な外線
	応答キー	—	赤速い点滅	応答可
		—	滅 灯	応答不可
	MSA キー	—	赤速い点滅	応答可
		—	赤点灯	応答不可、使用中表示可能な MSA
DGL キー	—	赤速い点滅	応答可、応答で滅灯	
	—	赤点灯	応答不可	

【点滅間隔】

ダブルウイंक点滅 : 1625ms オン/125ms オフ/125ms オン/125ms オフ
 ダブルフラッシュ点滅 : 125ms オン/125ms オフ/125ms オン/1625ms オフ
 フラッシュ点滅 : 500ms オン/1500ms オフ
 遅い点滅 : 500ms オン/500ms オフ
 速い点滅 : 125ms オン/125ms オフ

(2/3) 可視表示(F型多機能電話機)

状 態	該当キー	F型多機能電話機		備 考
		操作TEL	非操作TEL	
外線保留中 専用線保留中 (最終保留 表示有り)	外線キー	緑遅い点滅	赤遅い点滅	
		緑フラッシュ点滅	赤遅い点滅	最終保留以外
	MSA キー	緑遅い点滅	赤遅い点滅	
		緑フラッシュ点滅	赤遅い点滅	最終保留以外
外線保留中 専用線保留中 (最終保留表示無し)	外線キー	緑遅い点滅	赤遅い点滅*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	緑遅い点滅	赤遅い点滅*	*使用中表示可能なMSA
外線自己保留 専用線自己保留	外線キー	緑遅い点滅	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	緑遅い点滅	赤点灯*	*使用中表示可能なMSA
	自己保留キー	緑遅い点滅	滅 灯	
外線パーク 専用線パーク 保留 (最終保留表示有り)	パークキー	緑遅い点滅	赤遅い点滅	
		緑フラッシュ点滅	赤遅い点滅	最終保留以外
	外線キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能なMSA
外線パーク 専用線パーク 保留 (最終保留表示無し)	パークキー	緑遅い点滅	赤遅い点滅	
	外線キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能なMSA

【点滅間隔】

ダブルウィンク点滅 : 1625ms オン/125ms オフ/125ms オン/125ms オフ
 ダブルフラッシュ点滅 : 125ms オン/125ms オフ/125ms オン/1625ms オフ
 フラッシュ点滅 : 500ms オン/1500ms オフ
 遅い点滅 : 500ms オン/500ms オフ
 速い点滅 : 125ms オン/125ms オフ

(3/3) 可視表示(F型多機能電話機)

状 態	該当キー	F型多機能電話機		備 考
		操作TEL	非操作TEL	
秘話解除中 外線・専用線	外線キー	緑ダブルフラッシュ 点滅	赤ダブルウイंक 点滅	通話参加可能、 使用中表示可能な外線
			赤点灯	通話参加不可、 使用中表示可能な外線
会議通話中 外線・専用線	外線キー	緑ダブルウイंक 点滅	—	通話参加
		赤点灯	—	通話不参加、 使用中表示可能な外線
内線通話	内線ランプ	赤点灯	赤速い点滅*	*着呼電話機
ドアホン呼出・ 通話	ドアホンキー	緑ダブルウイंक 点滅	赤点灯	
ドアホン着信	ドアホンキー	—	赤速い点滅	応答可
		—	赤点灯	応答不可
ドアホンモニタ	ドアホンキー	緑フラッシュ点滅	—	
スピーカ受話	モニタキー	滅 灯	—	スピーカ・オフ
		赤点灯	—	スピーカ・オン
内線転送保留	内線キー	赤ダブルウイंक 点滅	赤点灯	

【点滅間隔】

ダブルウイंक点滅 : 1625ms オン/125ms オフ/125ms オン/125ms オフ
 ダブルフラッシュ点滅 : 125ms オン/125ms オフ/125ms オン/1625ms オフ
 フラッシュ点滅 : 500ms オン/1500ms オフ
 遅い点滅 : 500ms オン/500ms オフ
 速い点滅 : 125ms オン/125ms オフ

(1/3) 可視表示(IP多機能電話機)

状 態	該当キー	IP 多機能電話機		備 考
		操作 T E L	非操作 TEL	
外線空き 専用線空き	外線キー	滅 灯	滅 灯	該当外線空き
	発信キー	滅 灯	滅 灯	該当方路空き
	MSA キー	滅 灯	滅 灯	該当方路空き
外線使用中 専用線使用中	外線キー	緑点灯	赤点灯	該当外線使用中
	発信キー	—	—	該当発信方路全使用中は赤点灯
	MSA キー	緑点灯	赤点灯	該当 MSA 使用中
外線発信 専用線発信 および通話中	外線キー	緑点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	発信キー	—	—	該当発信方路全使用中は赤点灯
	MSA キー	緑点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な MSA
外線着信中 専用線着信中 (一般)	外線キー	—	赤 360IPM	応答可
	応答キー	—	赤点灯	応答不可、使用中表示可能な外線
		—	赤 360IPM	応答可
		—	滅 灯	応答不可
外線着信中 専用線着信中 (指定着信) (DIL, PBX ダイヤ ルイン不可番号 DID 着信)	外線キー	—	橙 360IPM	応答可
		—	赤点灯	応答不可、使用中表示可能な外線
	応答キー	—	橙 360IPM	応答可
		—	滅 灯	応答不可
	MSA キー	—	赤 360IPM	応答可
		—	赤点灯	応答不可、使用中表示可能な MSA
	DGL キー	—	赤 360IPM	応答可、応答で滅灯
		—	赤点灯	応答不可
外線保留中 専用線保留中 (最終保留 表示有り)	外線キー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM	
		橙点灯	緑 360IPM	最終保留以外
	MSA キー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM	
		橙点灯	緑 360IPM	最終保留以外
外線保留中 専用線保留中 (最終保留表示無し)	外線キー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM*	*使用中表示可能な MSA

【点滅間隔】

“色” 360IPM : ランプが 1 分間に 360 回点滅 (記載例: 緑 360IPM)

【交互点灯間隔】

橙と緑 60IPM : 橙と緑が 1 分間に 60 回交互点灯

(2/3) 可視表示 (IP 多機能電話機)

状 態	該当キー	IP 多機能電話機		備 考
		操作 T E L	非操作 TEL	
外線自己保留 専用線自己保留	外線キー	橙と緑 60IPM	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	橙と緑 60IPM	赤点灯*	*使用中表示可能な MSA
	自己保留キー	橙と緑 60IPM	滅 灯	
外線パーク 専用線パーク 保留 (最終保留表示有り)	パークキー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM	
		橙点灯	緑 360IPM	最終保留以外
	外線キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な MSA
外線パーク 専用線パーク 保留 (最終保留表示無し)	パークキー	橙と緑 60IPM	緑 360IPM	
	外線キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な外線
	MSA キー	赤点灯	赤点灯*	*使用中表示可能な MSA
秘話解除中 外線・専用線	外線キー	橙 60IPM	赤 60IPM	通話参加可能、 使用中表示可能な外線
			赤点灯	通話参加不可、 使用中表示可能な外線
会議通話中 外線・専用線	外線キー	緑点灯	—	通話参加
		赤点灯	—	通話不参加、 使用中表示可能な外線
内線通話	内線キー	赤点灯	赤 360IPM*	*着呼電話機
ドアホン呼出・通話	ドアホンキー	緑点灯	赤点灯	
ドアホン着信	ドアホンキー	—	赤 360IPM	応答可
		—	赤点灯	応答不可
ドアホンモニタ	ドアホンキー	橙点灯	—	
スピーカ受話	スピーカキー	滅 灯	—	スピーカ・オフ
		赤点灯	—	スピーカ・オン

【点滅間隔】

“色” 60IPM : ランプが1分間に60回点滅 (記載例: 赤 60IPM)

“色” 360IPM : ランプが1分間に360回点滅 (記載例: 緑 360IPM)

【交互点灯間隔】

橙と緑 60IPM : 橙と緑が1分間に60回交互点灯

(3/3) 可視表示(IP多機能電話機)

状 態	該当キー	IP多機能電話機		備 考
		操作TEL	非操作TEL	
マイク切替	ミュートキー	滅 灯	—	マイク・オン
		赤点灯	—	マイク・オフ
オートダイヤル 選択	セレクトキー	滅 灯	—	表面選択時
		赤点灯	—	裏面選択時
内線転送保留	内線キー	赤 60IPM	赤点灯	

【点滅間隔】

“色” 60IPM : ランプが1分間に60回点滅 (記載例: 赤 60IPM)

2-4. 機器仕様

2-4-1. 基本ユニット (BX060-BSCAB/P-2) 仕様

項目	内容		備考
制御系基板収容数	1		CNT基板
PP基板収容数(ポート数)	6(64)		
状態表示LED	Power(装置前面)	緑×1	+5V出力正常時に点灯 (装置前面)
外部I/F	FG(電源正面)	FG端子:1端子	
スイッチ	POWER(装置前面)	2極スイッチ	
入力電源	AC入力電圧	BX060-BSCAB/P-2 : AC90-110V	
	周波数	50/60Hz±2Hz	
	相数	単相	
最大消費電力	約120W		
空冷方式	自然空冷		
外形寸法	W×D×H:mm	382(W)×274(D)×399(H)	
質量	(Kg)	約20kg:基本ユニットのみ(フル実装)	

2-4-2. 制御基板 (CNT PKG) 仕様

項目	内容		備考
状態表示 LED	ALARM	赤 × 1	障害検出時に点灯 (CNT PKG)
	ONLINE	緑/赤 × 1	緑点灯：オンライン中 橙点灯：Flashメモリ書換え中 (リセット, 電源OFF禁止) 橙点滅：USB使用Flashメモリ書換え中 (リセット, 電源OFF禁止) 滅灯：オフライン
	VOIP	緑/赤 × 1	緑点灯=VoIP外線正常 橙(緑赤同時点灯)点灯 = VoIP外線通話中
	LAN/WAN	L/A SPD	緑 × 1 緑 × 1
外部 I/F	LAN	10/100Base-T/TX：1ポート、 Auto MDI/MDI-X, QoS=IEEE802.1p	
	WAN	10/100Base-T/TX：1ポート、 Auto MDI/MDI-X, QoS=IEEE802.1p	
	RMI	警報表示：MJ/MN 各1ポート	
	USB	ホスト：1ポート	USB2.0 給電：最大 500mA 480Mbps は非対応
	SIO	2ポート：SMDR用、COM用	調歩同期、V.24/V.28
	外部保留音	外部保留音装置接続：1ポート	
	CLKD	網従属同期用クロック入力：1ポート	
スイッチ	Shutdown/初期化SW (CNT基板)	押しボタンSW	Shutdown(運用中に一定時間押下) ：局データ、各種ログ情報バックアップ 初期化(押したままで電源ON) ：局データをすべてクリアして起動

(注) 設置時に本体プログラムのバージョンを確認し、最新バージョンでない場合はバージョンアップが必要。バージョン確認方法、バージョンアップ方法は『保守・障害修復編』を参照。

2-4-3. 増設ユニット (BX060-EXCAB-2) 仕様

項目	内容	備考
制御系基板収容数	—	
PP基板収容数 (ポート数)	6 (64)	
入力電源	BX060-EXCAB-2 : BX060-BSCAB/P-2からの給電	
最大消費電力	約120W	
空冷方式	自然空冷	
外形寸法 W×D×H:mm	382 (W) × 274 (D) × 399 (H)	
質量 (Kg)	約19kg : 増設ユニットのみ (フル実装)	

2-4-4. 増設バッテリーユニット (BX060-BATBOX-2) 仕様

項目	内容	備考
収容バッテリー	BZ-BATB-LA	
オプション	BX060-CABTOPコネクタ	増設バッテリーユニット用天板
外形寸法 W×D×H:mm	BX060-BATBOX-2: 382 (W) × 274 (D) × 235 (H)	
質量 (Kg)	約30kg (バッテリー含む)	

3. 手配品一覧（消耗品、外部使用機器などを含む）

3-1. 標準手配品

3-1-1. 本体系

(1) 本体

(MX用手配品)

区分	品名	品番	構成	数量	備考
本体系 装置 基本装置	BX060-BSCAB/P-2	4YA1181-1517G801	筐体	1 式	IP OFFICE MX 用基本ユニット保証書は “はじめにお読みください”に含む。 アースケーブルは別途工事手配が必要。 IP 外線 (2ch)/内蔵ホイスメール (2ch2H)/PB はじめにお読みください 信号受信回路 (4ch)/発番号受信回路 (4ch)/会議トランク (4者 2 会議)/ガイダンス 録音再生 (4ch) 標準実装 ※IP 外線 (2ch) と内蔵ホイスメール (2ch2H) は何れかの機能を選択
			BX060-CNT PKG	1	
			AC コード	1	
			CD-ROM (操作説明書他)	1	
			絶縁ブッシュ&絶縁板	4	
			BX060-CABTOP	1	
			ネジ (M4)	4	
増設装置	BX060-EXCAB-2	4YA1181-1518G002	筐体	1 式	IP OFFICE MX 用増設ユニット
		架間接続ケーブル	1		
		ネジ (M4)	4		
		AC 接続ケーブル	1		
		BATT-CONT ケーブル	1		
壁掛用品	BX060-CABWMヨウヒン	4YA1181-1534G001	壁掛金具	1	基本ユニット壁掛用金具 ※壁掛は基本ユニットのみ可能
			ネジ	4	
メモリ	BX060-MEMC-BASIC/2	4YA1181-1945G001	BX060 MEM-PKG	1	主制御メモリ (標準機能: IP 外線/PHS 機能含む、IP 内線機能を除く)(※1) *在庫終了後 BX060-MEMD-BASIC に切替
	BX060-MEMC-FULL/2	4YA1181-1945G004	BX060 MEM-PKG	1	主制御メモリ (フル機能: IP 外線/PHS/IP 内線機能含 む)(※1) *在庫終了後 BX060-MEMD-FULL に切替
	BX060-MEMC-NC/2	4YA1181-1945G005	BX060 MEM-PKG	1	主制御メモリ (フル機能+ナースコール機能)(※1) *在庫終了後 BX060-MEMD-NC に切替
	BX060-MEMD-BASIC	4YA1181-2057G001	BX060 MEMD-PKG	1	主制御メモリ (標準機能: IP 外線/PHS 機能含、IP 内 線機能を除く)(※1) *V8.1.7 以降のシステムファイルでのみ動作可
	BX060-MEMD-FULL	4YA1181-2057G004	BX060 MEMD-PKG	1	主制御メモリ (フル機能: IP 外線/PHS/IP 内線機能含 む)(※1) *V8.1.7 以降のシステムファイルでのみ動作可
	BX060-MEMD-NC	4YA1181-2057G005	BX060MEMD-PKG	1	主制御メモリ (フル機能+ナースコール機能)(※1) *V8.1.7 以降のシステムファイルでのみ動作可

※1: ホル・内蔵簡易 VM・SIP 専用線・Com@WILL ハートフォン連携機能搭載

区分	品名	品番	構成	数量	備考
オプション	BX060-EXDSP2	4YA1181-1984G002	BX060 EXDSP2-PKG	1	IP 外線/サービス拡張ユニット (回線スロットは使用しない) PB 信号受信 4 回路、発番号受信 4 回路、会議トランク 2 回路、ガイダンス録音再生 4 回路、IP 外線回路、IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路を実装 ※IP 外線と IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路は下記のいずれかのパターンから選択 (合計 12 回路) ・ IP 外線 : 0 回路、 IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路 : 12 回路 ・ IP 外線 : 4 回路、 IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路 : 8 回路 ・ IP 外線 : 8 回路、 IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路 : 4 回路 ・ IP 外線 : 12 回路、 IP-TSW 変換 (非圧縮) 回路 : 0 回路
バッテリー	BZ-BATA-LA	4YA1117-1941G001	バッテリー本体 接続ケーブル 1 (BATT-PSU) 接続ケーブル 2 (BATT-BATT)	2 1 1	BX060 BSCAB 収容 12V2.2AH のバッテリー 2 個で構成
	BZ-BATB-LA	4YA1117-1942G001	バッテリー本体 接続ケーブル 1 (BATT-PSU) 接続ケーブル 2 (BATT-BATT)	2 1 1	BX060 BATBOX 収容 12V17AH のバッテリー 2 個で構成
バッテリー ボックス	BX060-BATBOX/G-2	4YA1181-1519G302	筐体 ネジ (M4)	1 4	BX060 バッテリ搭載用ユニット 但し、バッテリー本体は含まない
	BX060-CABTOP/G	4YA1181-1535G301	筐体 ネジ (M4)	1 4	BX060 BATBOX 用天板
MW ランプ用 電源	BX060-MWPOW	4YA1181-1695G001	DC150V 電源	1	メッセージ・ウェイトング・ランプ付電話機用 オプション電源 (DC-24V⇒DC-150V) システムに最大 1 台
			ネジ (M3)	1	

(2) BSCAB/P-2/EXCAB-2 収容パッケージ

区分	品名	品番	構成	数量	備考
本体系 制御部	BX060-8BRG	4YA1181-1830G101	BX060-8BRG PKG	1	TSW-IP 通信ブリッジパッケージ
			CN-RoHSO×表	1	
アナログ 外線 ユニット	BX060-8COT/3	4YA1181-1973G001	BX060-8COT/3 PKG	1	8外線インターフェースユニット 衝突防止回路付、発ID受信対応付 近端/遠端/超遠端切り替え機能付 <発ID受信時その他手配品> BX060-VAST
			ワンタッチコネクタ(2芯)	16	
ISDN 外線 ユニット	BX060-PRT-L	4YA1181-1903G001	BX060-PRT-L PKG	1	INS1500(23B+D, 24B共用)インターフェースユニット (1回線)
	AZ-2BRIT-LD	4YA1117-2065G002	AZ-2BRIT-LD PKG	1	
			ワンタッチコネクタ(2芯) EMIコア	9 3	
BX060-4BRIT-G/2	4YA1181-1744G002	BX060-4BRIT-G/2 PKG	1	INS64(2B+D)インターフェースユニット(4回線) KC098A-2DSU-2Bを2個搭載可	
INS64 DSU ユニット	KC098A-2DSU-2B	4YA1079-1927G001	KC098A-2DSU-2B PKG	1	INS64 U点インターフェースユニット(2回線) AZ-2BRIT-LD/BX060-4BRIT-G/2に搭載可
			ワンタッチコネクタ(4芯) ワンタッチコネクタ(2芯)	2 2	
IP公衆 外線ユニット	BX060-8V01PU	4YA1181-1524G002	BX060-8V01PU PKG	1	IP公衆外線トランク(8ch) WAN(1ポート)/LAN(4ポート)
アナログ 専用線 ユニット	AZ-2LDT-LA	4YA1117-1100G001	AZ-2LDT-LA PKG	1	LD専用線インターフェースユニット (2回線) ループダイヤル方式
	BX5200-40DT-G	4YA1181-1687G002	BX5200-40DT-G PKG	1	
ワンタッチコネクタ(2芯) CN-RoHSO×表			12 1	OD専用線インターフェースユニット(4回線) アウトバンドダイヤル方式	
SIP 専用線	BX060-8SIPT	4YA1181-1722G101	BX060-8SIPT PKG	1	SIP専用線インターフェースユニット(8ch) LAN(5ポート)
アナログ 内線 ユニット	BX060-16SLCS	4YA1181-1956G001	BX060-16SLC PKG	1	アナログ内線インターフェースユニット(16回線) リバース回路無
	BX060-8SLCR	4YA1181-1955G001	BX060-8SLCR PKG	1	
			ワンタッチコネクタ(2芯)	10	アナログ内線インターフェースユニット(8回線) リバース回路付、2回路停電用回路内蔵
	BX060-8SLCS	4YA1181-1955G002	BX060-8SLCS PKG	1	アナログ内線インターフェースユニット(8回線) リバース回路無、2回路停電用回路内蔵
	BX5200-8SLCM	4YA1181-1453G001	BX5200-8SLCM PKG	1	8内線インターフェースユニット (MWランプ付単独電話機収容)、メッセージ・ランフ 制御回路付、BX5200-MWPOWが必要
ワンタッチコネクタ(2芯)			8		
BX060-2LLC-G	4YA1181-1747G001	BX060-2LLC PKG	1	2内線インターフェースユニット(単独電話機収容) 長距離内線対応、リバース回路付	
			ワンタッチコネクタ(2芯)	2	

区分	品名	品番	構成	数量	備考
F端末接続 ユニット	BX060-8FLC	4YA1181-1982G002	BX060-8FLC PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 8	
	BX060-16FLC	4YA1181-1982G001	BX060-16FLC PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 16	
ISDN内線 ユニット	AZ-2BRIS-LD	4YA1117-2065G001	AZ-2BRIS-LD PKG ワンタッチコネクタ (2芯) EMIコブ	1 4 2	ISDN内線インタフェースユニット (2回線)
	AZ-2BRIS-LD/CC	4YA1117-2065G011	AZ-2BRIS-LD/CC PKG ワンタッチコネクタ (2芯) EMIコブ	1 4 2	ISDN内線インタフェースユニット (2回線) ケアコネクター装置専用ユニット *在庫終了後、AZ-2BRIS-LE/CCに切り替え
	AZ-2BRIS-LE/CC	4YA1117-2065G021	AZ-2BRIS-LE/CC PKG ワンタッチコネクタ (2芯) EMIコブ	1 4 2	ISDN内線インタフェースユニット (2回線) アイソネクター装置/ケアコネクター装置共用ユ ニ ト
PHSユニット	BX060-8CDLC	4YA1181-1958G001	BX060-8CDLC PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 16	内線インタフェースユニット (BS収容8回線)
	BX060-4CDLC	4YA1181-1958G002	BX060-4CDLC PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 8	内線インタフェースユニット (BS収容4回線)
トランスミッター・放 送結合・外部 保留音	BX060-MISC/2	4YA1181-1900G001	BX060-MISC/2 PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 16	トランスミッター (JA型) インタフェース (DHCU-A内蔵、カラーテ レビトランス対応) : 4回路、放送結合 : 4回 路、外部保留音 : 2回路、トランス通信方式 全二重/半二重通信切り替え機能付
ホイスメール ユニット	BX060-8VMT-JP	4YA1181-1831G011	BX060-8VMT PKG	1	ホイスメールユニット (8回路) 録音時間最大120H
	BX060-1PVMLC	4YA1181-2010G001	BX060-1PVMLC PKG	1	CTstgaeLiteインタフェースパッケージ CTstgaeLiteと連携してホイスメール機能提供
課金/ホトル	BX060-MRGヨウヒン	4YA1181-1528G001	BX060-MRG PKG	1	課金/ホトル
会議/ガイダンス/PB受信/発 ID受信	BX060-VAST	4YA1181-1735G001	BX060-VAST PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 1	4者会議通話トランク (2回路)、ガイダンス録音 再生 (4回路)、PB受信 (8回路)、発ID 受信 (8回路) の何れかを選択して利用 ホトルウェイクアップコールのガイダンス再生は日英バイ リンガル (日本語→英語の順に再生) 対応

(3) 保守用品

区分	手配品名	手配品番	構成	数量	備考
基板制御	BX060-CNT	4YA1181-1520G001	BX060-CNT PKG ワンタッチコネクタ (2芯)	1 5	BSLU に添付されている BX060-CNT PKG の保守用品

3-1-2. 端末系

(1) IP 多機能電話機

品名	品番	構成	数量	備考
MKT/IP-30DKWHF-V2-P	4YA3507-2151G802	本体 ファンクションカード ファンクションカバー 簡易取説	1 1 1 1	フレキシブルキー：30個 ※1 表示：漢字 ACアダプタ：接続可 ※2 ヘッドセット：接続可
MKT/IP-30DKWHFWL/02-P	4YA3507-2171G802	本体 ファンクションカード ファンクションカバー 簡易取説 ACアダプタ	1 1 1 1 1	フレキシブルキー：30個 ※1 表示：漢字 ACアダプタ：接続可 ヘッドセット：接続可 AC側消費電力：約 12.2VA

※1：応答キーとリダイヤルキーをフレキシブルキーに設定することにより最大32個まで使用可

※2：PoE 給電しない場合は、ACアダプタを別途手配する必要があります。

・ IP 多機能電話機 オプション品

品名	品番	構成	数量	備考
LS-A8319-ADT1 ACアダプタ	4YA3507-1986G001	本体	1	MKT/IP用ACアダプタ AC側消費電力： MKT/IP-30DKWHF-V2-P 約 10.5VA
DTS-HM-10-HDS	4YA3508-1573G001	本体	1	ヘッドセット

・ IP 多機能電話機 保守品

品名	品番	構成	数量	備考
カールコート	236A3112P0002	カールコート	1	MKT/IP-30DKWHF-V2-P用
HS-6147-QK2	557A1020P0002	ヘッドセット本体	1	MKT/IP-30DKWHF-V2-P用

・ IP 多機能電話機 販売推進用

品名	品番	構成	数量	備考
MKT/Rハンズメンインジヨウシ (LCDヨウ) _10	00048190	LCDカード	10	LCD用盤面用紙
MKT/Rハンズメンインジヨウシ_20	00048191	ファンクションシート	20	MKT/IP用盤面印字用紙
MKT/Rタイフヨウホウジンカバー _10	00048135	カバー	10	防塵カバー

(2) IP 単機能電話機

品名	品番	構成	数量	備考
スピーホホン IP-V2	4YA3507-2230G001	本体 フィルタスタンド 簡易操作マニュアル	1 1 1	ファンクションキー：10 個 表示：か AC アダプタ：接続可 ヘッドセット：接続不可

- IP 単機能電話機 オプション品

品名	品番	構成	数量	備考
48120100-A1 AC-ADP (JP)	454A1025P6001	本体	1	AC 側消費電力：約 11.8VA

(3) 無線 IP アクセスポイント

品名	品番	構成	数量	備考
mWINS BR2102	4YA1245-1001G002	本体 取付金具 アンテナ シールド (本体用) シールド (取付金具用) 保証書	1 1 4 1 4 1	802.11a 及び 802.11b/g を同時使用可能。1AP あたりに 6ch 同時接続可能。 ※同一 AP 配下の端末同士の場合、通話に 2ch 必要 ※給電方式は標準給電方式及び AC 給電に対応

- 無線 IP アクセスポイント オプション品

品名	品番	構成	数量	備考
MWINS BR2100 OP-AC アダプタ	4YA1245-1015G001	本体	1	AC 側消費電力：約 15VA

(4) ソフトフォン

区分	品名 品番	構成	数量	備考
ソフトフォン	Com@WILL Light(フルパッケージ+5ライセンス) S0038737	CD-R 使用許諾書	1 1	Com@WILL Light-Pack 用加入者ライセンス(5ライセンス) 基本+オプション機能(ソフトフォンダイヤラ、ソフトフォンレコーダ、ソフトフォンコーデイネータ、G.729 拡張コーデック) 含む
	Com@WILL Light(キホンパッケージ+5ライセンス) S0038739	CD-R 使用許諾書	1 1	Com@WILL Light-Pack 用加入者ライセンス(5ライセンス) 基本機能(ハードフォン連携/SIP 専用線含む) のみ
	Com@WILL Light(エキストラパッケージ+5ライセンス) S0041584	CD-R 使用許諾書	1 1	Com@WILL Light-Pack 用加入者ライセンス(5ライセンス) 基本+オプション機能+プレース機能含む
	Com@WILL Light for Windows Mobile (パッケージ+5ライセンス) S0038736	CD-R 使用許諾書	1 1	Com@WILL Light for Windows Mobile 加入者 ライセンス(5ライセンス)、対応 OS: Windows Mobile 基本機能(SIP 専用線含む) のみ ※ハードフォン連携機能は含まない
	Com@WILL Light for Windows Mobile (エキストラパッケージ+5ライセンス) S0041585	CD-R 使用許諾書	1 1	Com@WILL Light for Windows Mobile 加入者 ライセンス(5ライセンス)、対応 OS: Windows Mobile 基本機能(SIP 専用線含む)+プレース機能含む ※ハードフォン連携機能、オプション機能は含まない

(5) 一般電話機

手配品名	手配品番	構成	数量	備考
ハ°ロル CX2-W	4YA3506-2465G101	本体 自局カト° 自局カト° 押さえ 取扱説明書	1 1 1 1	白、メッセージランブ° 無
ハ°ロル CX3-W	4YA3506-2465G201	本体 自局カト° 自局カト° 押さえ 取扱説明書	1 1 1 1	白
ハ°ロル IX-1-W	4YB3506-2472G001	本体 自局カト° 自局カト° 押さえ 取扱説明書	1 1 1 1	白
ハ°ロル IX-2-W	4YB3506-2472G002	本体 自局カト° 自局カト° 押さえ 取扱説明書	1 1 1 1	白
ハ°ロル Cカ°カケヨウヒン	4YB3506-1653G001	本体 フックビ°-ス ネジ° (PWM3.8-20F4) ネジ° (PP4-25F4)	1 1 4 2	
ハ°ロル IX-1-Wヨウハ°ネル	4YB3506-2472G003	ハ°ネル	10	
ハ°ロル IX-2-Wヨウハ°ネル	4YB3506-2472G004	ハ°ネル	10	

(6) VB-F型多機能電話機

手配品名	手配品番	備考
12キ電話機 N-W	VB-F411NA-W	
12キ電話機 N-K	VB-F411NA-K	
12キ電話機 K-W	VB-F411KA-W	在庫終了後、VB-F411KA-S に切り替え
12キ電話機 K-S	VB-F411KA-S	
12キ電話機 K-K	VB-F411KA-K	
24キ電話機 K-W	VB-F611KA-W	在庫終了後、VB-F611KA-S に切り替え
24キ電話機 K-S	VB-F611KA-S	
24キ電話機 K-K	VB-F611KA-K	
24キ電話機 KP-W	VB-F611KPA-W	在庫終了後、VB-F611KPA-S に切り替え
24キ電話機 KP-S	VB-F611KPA-S	
カルコートレス電話機	VB-F611KC-W	
24キ増設ユニット W	VB-F331A-W	在庫終了後、VB-F331A-S に切り替え
24キ増設ユニット S	VB-F331A-S	
24キ増設ユニット K	VB-F331A-K	
集中受付装置 W	VB-F631A-W	在庫終了後、VB-F631A-S に切り替え
集中受付装置 S	VB-F631A-S	
集中受付装置 K	VB-F631A-K	

(7) 状態表示盤

手配品名	手配品番	備考
状態表示盤 (1色基本部)	VB-F081A	
状態表示盤 (1色増設部)	VB-F082	VB-F081A に 2 台まで接続可能

(8) 停電切替アダプター

手配品名	手配品番	備考
停電切替アダプター	VB-D281	POW-ADP セツゴ ケーブル-P が必要

(9) 接続ケーブル

手配品名	手配品番	構成	数量	備考
POW-ADP セツゴ ケーブル-P	4YA1181-2004G001	本体	1	停電切替アダプター接続用ケーブル

3-1-3. PHS 端末

(1) 基地局 (BS)

品名	品番	構成	数量	備考	
OKI-BS2V3-ID	4YA3507-1888G502	本体	1	管理 BS* システム ID 内蔵 * 在庫終了後、UF7100-V4 セツツ [®] クラウチ 「ID」に切り替え	
		裪 [®]	1		
		コート [®]	1		
OKI-BS2V3-ND	4YA3507-1888G501	本体	1	一般 BS システム ID なし * 在庫終了後、UF7100-V4 セツツ [®] クラウチ 「ND」に切り替え	
		裪 [®]	1		
		コート [®]	1		
		シール	1		
UF7100-V4 セツツ [®] クラウチ 「ID」	4YA3507-1888G602	本体	1	管理 BS* システム ID 内蔵	
裪 [®]	1				
コート [®]	1				
UF7100-V4 セツツ [®] クラウチ 「ND」	4YA3507-1888G601	本体	1	一般 BS システム ID なし	
		裪 [®]	1		
		コート [®]	1		
		シール	1		
UF7200IP-V2 セツツ [®] クラウチ 「ID」	4YA3507-2005G102	裪 [®]	1	管理 BS* システム ID 内蔵 * 在庫終了後、UF7200IP-V3 セツツ [®] クラウチ 「ID」に切り替え	
UF7200IP-V2 セツツ [®] クラウチ 「ND」	4YA3507-2005G101	裪 [®]	1		一般 BS システム ID なし * 在庫終了後、UF7200IP-V3 セツツ [®] クラウチ 「ND」に切り替え
シール	1				
UF7200IP-V3 セツツ [®] クラウチ「ID」	4YA3507-2005G202	裪 [®]	1	管理 BS* システム ID 内蔵	
UF7200IP-V3 セツツ [®] クラウチ「ND」	4YA3507-2005G201	裪 [®]	1	一般 BS システム ID なし	
シール	1				

*) 管理 BS : 1 ユーザ、1 システムあたり 1 個の管理 BS が必要である。管理 BS に書き込まれているシステム ID は、工場出荷時に設定されている連番の番号である。1 システムに 1 管理 BS を使用することで、結果的にシステムごとに異なったシステム ID を持つことになる。

(2) 取付金具

品名	品番	構成	数量	備考
OKI-BS カク [°] -A	4YA3507-1680G001	金具 取説 衫 [°]	1 1 4	壁取付け用 UF7100 用取付金具 A
OKI-BS カク [°] -B	4YA3507-1681G001	金具 取説 衫 [°]	1 1 4	防滴ホ [°] ックス取付け用 UF7100 用取付金具 B
UF7200IP ヨウカ [°] カケヨウヒン	4YA3507-2025G001	金具 取説 衫 [°]	1 1 4	壁掛け設置用取付け金具 JISホ [°] ックスに取り付け可能 UF7200IP 用壁掛用品
UF7200IP ヨウスイオキヨウヒン	4YA3507-2026G001	金具 取説 衫 [°]	1 1 4	据置き設置用取付け金具 (壁掛け設置も可能) UF7200IP 用据置用品

(3) ACアダプタ

品名	品番	構成	数量	備考
AD-48032RF	4YA3507-2244G001	本体	1	ローゼット取付け用 UF7100 用 AC アダプタ AC 側消費電力：約 5.9VA
LS-A8319-ADT1 AC アダプタ	4YA3507-1986G001	本体	1	UF7200IP ローカル給電用 AC アダプタ AC 側消費電力：約 9.9VA

(4) PS (子機)

品名	品番	構成	数量	備考
UM7700-SET/NB	4YA3507-2312G002	デジタルコードレス子 機 電池パック 取扱説明書 充電台 AC アダプタ	1 1 1 1 1	

(5) PS オプション品

品名	品番	構成	数量	備考
UM7700-電池パック	4YA3507-2337G001	電池パック	1	
UM7700-充電ステーション	4YA3507-2315G001	充電台	1	
UM7700-ACアダプタ	4YA3507-2338G001	ACアダプタ	1	
OKI-PHS2-送受信ケーブル	4YB3507-2019P001	転送ケーブル	1	UM7700 同士の電話帳転送時に使用
OKI-PHS2-ソフトウェアインストールツール	4YA3507-2067G001	接続ケーブル※1 CD-ROM※2 取扱説明書	1 1 1	※1:UM7700 と PC を接続して使用。 PC には、データ転送用として D-SUB9 ピン、給電用として USB 端子が必要。 PC に D-SUB9 ピン端子が無い場合は USB/D-SUB 変換ケーブルの手配が別途必要で、 その場合 PC に 2 つの USB 端子が必要となる ※2: 電話帳件数 300 件に対応させるには、 別途ソフトウェアのダウンロードが必要

3-1-4. ソフトウェア

区分	品名	品番	備考
保守	BX5000-オフライン MAC/01	S0023005	オフラインにて局データを作成するためのソフト

3-1-5. PC、サーバ系

【 オフライン保守コンソールサーバ用PC 】

表で使用する略称

IE : Microsoft Internet Explorer FF : Fire Fox / JRE : Java Runtime Environment※4

種別	項目				
		Windows XP (Professional)	Windows Vista ※1 (Business)	Windows7 32bit版 ※1、※2 (Professional)	
ハードウェア	ディスプレイ	1024×768 以上の解像度で表示可能なカラーディスプレイ			
	ハードディスク	120M のソフト領域と 1 ユーザあたり 25MB 以上の空き領域が必要			
	CD-ROM	ソフトウェアのインストール時に必要			
	ネットワークアダプタ	100BASE-TX 対応のネットワークアダプタ			
ソフトウェア	HTTPサーバソフト	Internet Information Server など			
	ブラウザ	V8.0~	IE6~8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_20	IE7~8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_20	IE8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_20
		V8.1~	IE6~8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_22	IE7~8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_22	IE8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0~1.6.0_22
	保守コンソールソフト	オフライン保守コンソールソフト V4.0 以上 (CD-ROM 1 枚)			

<注意> ウイルスチェックソフトの定刻起動等を行っている時、その動作中に保守コンソールの動作が極端に遅くなることが有る。このような場合は定刻起動を停止して運用することを推奨する。

局データのロックにおける独占を防ぐため、保守コンソールでは 1 つの画面につき、データ設定時間を 30 分に制限しています。(残り 10 分になった時、保守コンソール画面に警告メッセージを出力します。)

※1 : Windows Vista 及び Windows 7 では、ネットワーク環境によって、保守コンソールからネットワークの切断をリアルタイムに検出できない場合があります。

※2 : Windows 7 では、保守コンソールで表示したウィンドウが、メイン画面の背後に表示される場合があります。ご注意ください。

※3 : ユーザ保守コンのみ Fire Fox の使用可能です。オフライン保守コンソールでは使用できません。

※4 : 古い JRE で保守コンソールを長時間使用すると画面が固まる場合があります。メンテナンスする IPstage バージョンに適用可能な最新 JRE をご利用ください。メンテナンスする IPstage が複数バージョンある場合、必要な JRE バージョンは全てインストールすることをお勧めいたします。

【 汎用ブラウザ用 PC 】

表で使用する略称

IE : Microsoft Internet Explorer FF : Fire Fox / JRE : Java Runtime Environment※5

種別	項目	仕様		
		Windows XP (Professional)	Windows Vista ※1 (Business)	Windows7 32bit版 ※1、※3 (Professional)
ハードウェア	ディスプレイ	1024×768 以上の解像度で表示可能なカラーディスプレイ		
	ネットワークアダプタ	100BASE-TX 対応のネットワークアダプタ		
ソフトウェア	ブラウザ V8.0 ～	IE6～8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_20 ※6	IE7～8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_20 ※6	IE8 FF3.6.3 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_20 ※6
	V8.1 ～	IE6～8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_22 ※6	IE7～8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_22 ※6	IE8 FF3.6.12 ※3 JRE Ver 1.6.0～1.6.0_22 ※6

<注意>ウイルスチェックソフトの定刻起動等を行っているとき、その動作中に保守コンソールの動作が極端に遅くなることが有る。このような場合は定刻起動を停止して運用することを推奨する。

局データのロックにおける独占を防ぐため、保守コンソールでは 1 つの画面につき、データ設定時間を 30 分に制限しています。(残り 10 分になった時、保守コンソール画面に警告メッセージを出力します。)

※1 : Windows Vista 及び Windows 7 では、ネットワーク環境によって、保守コンソールからネットワークの切断をリアルタイムに検出できない場合があります。

※2 : Internet Explorer 8 では、IPstage のリセット後に、保守コンソールに接続できない場合があります。その時は、Internet Explorer 8 を再起動して、保守コンソールにログインしてください。

※3 : Windows 7 では、保守コンソールで表示したウィンドウが、メイン画面の背後に表示される場合があります。ご注意ください。

※4 : ユーザ保守コンのみ Fire Fox の使用が可能です。オフライン保守コンソールでは使用できません。

※5 : 古い JRE で保守コンソールを長時間使用すると画面が固まる場合があります。メンテナンスする IPstage バージョンに適用可能な最新 JRE をご利用ください。メンテナンスする IPstage が複数バージョンある場合、必要な JRE バージョンは全てインストールすることをお勧めいたします。

※6 : ユーザ保守コンソールのみを使用する場合、Java ランタイムは必要ありません。

3-2. 保守用品

区分	品名	備考
ワンタッチコネクタ	232D-02S1B-DA5-FA	第一電子工業株式会社製
ヒューズ	0215010.XP	主電源（バッテリー逆接続時）用 [10A/250V]
	0215002.XP	主電源（MWPOW 逆接続時）用 [2A/250V]

3-3. CTstage

品名	品番	備考
CTstage Lite ティースキット SP1(サーバソフト)	S0045872	

4. 機能一覧

MX : MX での提供可否

EX : EX での提供可否

Ver : 提供開始バージョン (- は、V8.0にて提供)

ライセンス : EX でのライセンス要否 (- : 不要、○ : 要)

MKT/IP : OKI 製 IP 多機能電話機

KA : Panasonic 製漢字表示付 12/24 キー電話機、カールコードレス電話機

NA : Panasonic 製数字表示付 12 キー電話機 (△は、明らかに表示に制限があることを示す。また、○に関して一部表示に関しての制限はある。)

アナログ : アナログ一般電話機

ISDN : ISDN 標準電話機

SIP : SIP 標準電話機 (スーパーホン IPV2 を対象とする)

PHS 標準 : PHS 自営標準電話機

C911A : PHS (VB-C911A)

UM7700 : PHS (UM7700)

各種端末欄での - は、端末操作に関係ないもの、または該当しない (対象外) のもの。

着信機能

機能番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N			1	7	
						ス	I						標	A	0	
							P						準		0	
0101	外線着信 (一般着信)	この機能は、外線からの呼び出しをあらかじめ設定した応答可能な内線全てに着信させる機能である。外線からの着信を部署内の誰かが対応する場合に使用する。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 鳴動のみ応答可 注2: SIP 一斉着信登録が必要 注3: PHS 一斉着信登録が必要
0102	DIL着信	この機能は、外線からの呼び出しをあらかじめ設定した内線に個別着信(1台)させる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0103	付加番号DID	この機能は、外線からの着信に自動応答後、外線に音声ガイダンスを送出し、外線からの PB 信号を受信することで、指定された着信先を呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	注1: 録音不可 (着信は可能)

着信機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D N	S I P	P H S	C U S T O M E R	備考
0104	DID着信	この機能は、ISDN 外線／IP 外線から着信した場合、受信した着番号情報に対応した着信先を呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
0105	i・ナンバー	この機能は、i・ナンバー契約回線を収容することより、ISDN 外線から着信した場合、メッセージ中に含まれるポート番号毎に、着信先を分けることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
0106	PBXダイヤルイン	この機能は、アナログ外線から着信した場合、網から受信するダイヤルイン番号毎に着信先を指定することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
0107	集中着信	この機能は、電話機の[集中着信]キーを押すことで、集中着信モードとなった内線に、すべての一般系着信を集中させることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	△	×	×	×	注1：特番 による操作 のみ可能
0108	DGL/MSA	この機能は、内線をグループ化し、グループ単位で内線を呼び出すことができる機能である。また、呼び出しは、内線、外線、専用線から呼び出すことができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	注1：鳴動の み応答可 注2：SIP 一 斉着信登録 が必要 注3：PHS 一 斉着信登録 が必要
0109	昼夜切替え	この機能は、内線の[夜間切替]キーを押下することで、外線／ドアホン／DGL からの着信形態を切り替える機能である。また、自動で切り替えることもできる。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	
0110	留守応答メッセージ	この機能は、外線からの着信があった場合に、IP OFFICE が自動応答して業務の終了などのメッセージを送出することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	
0111	応答待ち合わせガイダンス送出	この機能は、外線からの着信（内線個別着信、一般系着信）において、着信先内線が応答するまでの呼び出し中の間に、発信者に対して待ち合わせガイダンスを送出することができる機能である。	○	×	-	-	○	○	△	×	×	×	×	

着信機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S P C U	S I H 9 M	P S 1 7	C 1 7	U A 0 0	備考
0121	内線相互通話	この機能は、IP OFFICE の内線間で通話ができる機能である。 着信側端末が F 型多機能電話機の場合、音声呼び出しができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	注1：局データ指定で音声呼出可能。切替は不可 注2：音声呼出不可
0122	グループ音声呼び	この機能は、特番と音声呼びグループ番号をダイヤルすることにより、音声呼びグループに登録された、F 型多機能電話機を発信者の音声で一斉に呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	○	○	○	注1：呼び出されることはできないが、応答できる。
0123	シリーズコール(コールアドバンス)	この機能は、着信先の内線が使用中または呼び出し未応答の場合に、発信内線が1桁ダイヤルすることで末尾1桁を変更した内線を呼び出す事ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	○	○	○	注1：PB 電話機で ROT 聴取中は不可 注2：ROT 聴取中は不可
0131	代理応答-グループ内代理応答	この機能は、グループ内の内線に内線/外線/専用線着信があった場合、他の内線で代理応答できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
0132	代理応答-グループ指定代理応答	この機能は、他代理応答グループの内線に内線/外線/専用線着信があった場合でも、代理応答できる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	△	△	△	△	△	注1：グループ対応代理応答は不可 注2：グループ対応代理応答は不可。#キー使用での指定代理応答不可
0141	プレシグナル	この機能は、内線に着信があった場合に、短い着信音(プレシグナル)を鳴らすことで、すぐに着信を伝えることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	

着信機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D N	S I P	P S T N	C S D	U 9 M 1 7 0 0	備考
0142	着リング識別	この機能は、内線への着信時に、着信種別毎に異なる周期の着信音を送出することで、応答者が着信音により着信種別を知ることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	△	△	△	△	注1：端末の機能に依存
0143	着信音色選択	この機能は、各内線毎/回線毎/発番号毎/着番号毎/ポート番号毎に8種類の異なった音色から着信音を選択することができる。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	
0151	不在設定	この機能は、不在設定を行っている内線への着信を規制する機能である。発信者の電話機ディスプレイには、指定したメッセージが表示され、不在であることを伝える。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	
0152	回線毎着信拒否	この機能は、ISDN外線/IP外線からの着信を拒否できる機能である。着信拒否設定をした回線は、発信専用回線になる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0153	回線使用制限	この機能は、指定したISDN外線/IP外線を一時的に使用制限できる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	
0154	使用中着信規制	この機能は、一般着信/DGL着信時に着信先の内線がすべて使用中の場合、着信を規制できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	

自動転送機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス / I P	M K T / P	K A	N A	ア ナ ロ グ N	I S D P	S I H P S 1 7 標 準 A 0 0	P C 9 M 1 7 0	U M 1 7 0	備考	
0201	不在転送(フォロミ ー含む)	この機能は、転送先を設定することで、かかってきた電話を設定した相手に転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0202	外線自動転送	この機能は、外線からの着信を外線に転送する機能である。 外線に転送する方法には、内線への個別着信を転送する方法と外線から着信があった場合、無条件に外線に転送する方法がある。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	
0203	選択転送	この機能は、外線からの着信時に、発信者がガイダンス操作により、外線へ転送するか、他の内線にスライドさせるかを選択できる機能である。スライドが選択された場合には、着信先内線の代表グループにスライドする。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0211	応答遅延転送	この機能は、着信(内線個別着信、一般系着信)に対して一定時間応答しなかった場合、登録した転送先に転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0212	シフト着信	この機能は、外線からの内線着信に対して、一定時間応答がなかった場合、別の内線又は DGL グループに転送する機能である。 転送先が、一定時間応答しなかった場合は、さらに転送することができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0213	ツインコール	この機能は、内線呼び出す際に同時呼び出し先として予め登録された呼び出し先を同時に呼び出す事ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0214	おっかけ転送	この機能は、個別着信時、予め指定された曜日・時間帯に従い、転送先を呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0221	内線代表	この機能は、個別着信時、内線の呼び出し順序に従って、代表グループ内の空き内線呼び出す機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0222	話中転送	この機能は、個別着信に対して、着信先内線が話中の場合、登録されている転送先に転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	

発信機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ										
						セ										
						ン										
						ス										
							P									
0309	緊急ダイヤル発信 接続	この機能は、内線がオフフックして緊急ダイヤル番号をダイヤルすることで、外線へ緊急発信できる機能である。この時、発信内線のサービスクラスに関係なく外線へ発信できる。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0311	リダイヤル	この機能は、内線から、[再ダイヤル]キーを押すことで直前にかけた電話番号に再発信できる機能である。 また、発信時、相手が話中だった場合、[オートリピート]キーを押すことで、相手が応答するまで発信を繰り返すこともできる。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
0312	オートダイヤル	この機能は、[オートダイヤル]キーに番号を登録する事で、[オートダイヤル]キーを押すだけで、登録されている番号へ発信できる機能である。	○	○	-	-	○	△	△	×	×	×	×	×	×	
0313	システム短縮ダイヤル	この機能は、登録したシステム短縮ダイヤルを使って、登録済みの相手先番号に内線から発信できる機能である。社内で共通に使用する番号を登録する。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
0314	個別可変短縮ダイヤル	この機能は、内線毎に電話機から相手先番号を登録することができる機能である。特番と短縮番号をダイヤルすることで、登録した相手先番号に発信できる。	○	○	-	-	×	×	×	○	×	○	○	○	○	
0315	内線ワンタッチコール (DSS)	この機能は、フレキシブルキーに、内線番号を登録した [DSS/BLF] キーを設定し、[DSS/BLF] キー押下” することにより、登録された内線呼び出すことができる/登録した内線の状態を表示できる。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0316	ダイヤルメモリ	この機能は、未使用中、通話中に電話番号を記録することができる機能である。また、記憶したダイヤルから発信の操作が行える機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
0317	ホットライン	この機能は、内線が、オフフックするだけで登録されている相手呼び出せる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
0321	内線サービスクラス	この機能は、内線ごとにサービスクラスを指定することで、外線発信、市外発信、国際発信等を規制できる機能である。	○	○	-	注 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	注1：特定番号発信規制運用時は○
0322	昼/夜クラス切替え	この機能は、手動または自動で、内線のサービスクラスを切り替えることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	

発信機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M I P	K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P	P S T N	C S T N	U S B	備考
0331	内線キャンプオン ビジー	この機能は、内線発信時、相手先内線が使用中の場合に、発信内線が、【予約】キー押下または(予約特番)をダイヤルすることで、相手先内線が空き次第、自動的に発信内線呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
0332	トランクキャンプ オン	この機能は、内線が外線／専用線へ発信する際、空の回線が無い場合に、発信者が予約操作を行うことで、回線が空いた時に呼び返して知らせることができる機能である。 内線は、この呼び出しに応答後、そのままダイヤルすることで、外線に発信することができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
0341	ID機能-ID発信	この機能は、発信規制されている電話機にID番号を入力することにより、外線発信できるようにする機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	注1: ID連続モードは不可
0342	ID機能-ID登録	この機能は、保守コンソールからのデータ設定、システム管理電話機からの電話機保守によりID番号を登録することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
0343	ID機能-ID個別短 縮ダイヤル	ID番号毎に短縮ダイヤルを登録／発信することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	注1: *以降も着番号として通知できる場合可能
0344	ID機能-ID予算管 理	この機能は、ID番号毎に予算管理を行うことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	

通話中機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M I P	K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P	P S T N	C S T N	U S B	備考

通話中機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P	P H S	C S 1 7	U 9 M 1 7 A 0 0	備考
0401	ダイヤル転送	この機能は、内線／外線／専用線／ドアホンと通話中の状態から、 [内線] キーと (転送先内線番号) をダイヤルすることで、通話保留し、他の内線へ転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0402	キャンプオンラインギング	この機能は、通話中に転送保留操作を行い、相手応答前にオンフックすることで転送を行う機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	スーパーホン IP-V2 のみ可能
0403	通話中ダイヤル	この機能は、内線通話または外線／専用線通話中に、ダイヤルするだけでダイヤル転送等の特番操作が可能となる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	DP 電話機のみ可能
0404	公-公接続	この機能は、外線通話中または外線からの着信を任意の外線へ転送し、外線と外線を接続する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0405	専-公接続	この機能は、専用線通話中または専用線からの着信を任意の外線へ転送し、専用線と外線を接続する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0406	公-専接続	この機能は、外線通話中または外線からの着信を任意の専用線へ転送し、専用線と外線を接続する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0407	専-専接続	この機能は、専用線通話中または専用線からの着信を任意の専用線へ転送し、専用線と専用線を接続する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0411	自己保留	この機能は、通話中に [自己保留] キーを押下することで、通話を保留できる機能である。 自己保留の応答は、自己保留操作をした内線からのみできる。保留中の電話機は発信などの他の操作をすることができる。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	注1：スーパーホン IP-V2 は端末機能で可能
0412	回線保留	この機能は、 [回線] キーを使用している通話中に、F型多機能電話機が、 [保留] キーを押下することで保留できる機能である。また、保留中の [回線] キーを押下する事で他内線でも応答できる。	○	○	-	-	○	○	○	△	△	△	△	△	注1：保留応答のみ可能
0413	パーク保留	この機能は、通話中(内線、外線、専用線)のF型多機能電話機が、 [パーク] キーを押下することで通話相手を保留することができる機能である。また、特番により、アナログ電話機、SIP 端末、PHS でも保留できる。 パーク保留は、自分以外からも応答が可能であり、全ての内線で応答できるシステムパーク保留と、あらかじめ、共通の保留グ	○	○	-	-	○	○	○	○	△	○	○	○	注1：保留応答のみ可能

通話中機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P	P S 1 7 A 0 0	C U 9 M 1 7 A 0 0	備考
		ループを作り、そのグループに属している内線のみ応答できるグループパーク保留がある。													
0414	保留音	この機能は、保留または、転送中の外線／専用線／内線／ドアホンに保留音を送出する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	注1：保留された場合の保留音聴取のみ可能
0415	着信ウェイトメッセージ	この機能は、外線からの一般系着信（一般着信、DGL着信）に対して、誰も応答できる人がいない場合、通話中のF型多機能電話機からの操作で、発信者に対して、ガイダンス（待ち合わせメッセージ）を送出することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	
0416	最終保留転送	この機能は、保留後にそのままダイヤルした内線に、保留した相手をダイヤル転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	
0421	通話中着信/内線キヤッチホン	通話中着信は、発信した呼び出し先の内線が通話中の場合に、続けて特番をダイヤルすることで、通話中の呼び出し先の内線に着信を通知し呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	×	○	○	
0422	割り込み通話	この機能は、通話中の内線／外線／専用線に対して、通話に割り込みできる機能である。 割り込み後の通話は、3者通話となる。また、割り込み通話は、登録された特定の内線からのみできる。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	×	○	○	
0431	会議通話	この機能は、通話中の内線から、他の内線／外線／専用線を音声会議に招集することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	×	×	○	○	
0432	秘話解除	この機能は、外線との通話中に、秘話解除することで他の電話機から通話に参加することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	
0441	PBエント・ツー・エンド通信	この機能はPB（プッシュボタン）信号を接続先に送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	○	注1：端末機能で可能
0442	外線フッキング信号送出	この機能は、発信者が外線通話中に、使用中の【回線】キー押下または、フッキング操作をすることにより、外線にフッキング信号を送出することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	
0443	外線/専用線乗り換え	この機能は、F型多機能電話機が通話中／呼び出し中／相手先話中の場合、未使用の【回線】キーを押下することにより、現在使用している回線を切断して、指定した外線または専用線に乗り換えることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	
0444	通話中着信表示	この機能は、外線着信、ドアホン着信、ま	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	

通話中機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
						IP									0	
		たは DGL/MSA 着信があった場合、通話中の内線に着信を知らせることができる機能である。														

付加機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
						IP									0	
0501	発信者番号表示	この機能は、外線からの着信時、電話に出る前に発信者の電話番号を電話機のディスプレイに表示する機能である。	○	○	—	—	○	○	△	×	○	○	○	○	○	注1：端末へは発信者番号通知のみ行う。ネーム通知は行わない
0503	発信者番号毎着信	この機能は、外線着信時に受信した発信者番号毎に着信先を変えることができる機能である。	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0504	発信者番号毎着信音	この機能は、外線着信時に受信した発信者番号毎に着信音色を変えることができる機能である。	○	○	—	—	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0505	発信者番号毎バックライト切替	この機能は、外線着信時に受信した発信者番号毎に MKT/R のバックライト色を変えることができる機能である。F型漢字多機能電話機の場合は着信ランプの色を変えることができる。	○	○	—	—	×	△	×	×	×	×	×	×	×	
0506	発番号不在転送	この機能は、発信者番号毎に転送先の番号を登録することで、不在転送先を登録した内線が不在設定の場合、その内線への着信を登録された転送先へ自動転送する機能である。	○	○	—	—	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0507	着信履歴	この機能は、外線から着信した場合に、受信した発信者番号を着信履歴として蓄積できる機能である。また、蓄積された着信履歴を使って発信することもできる。	○	○	—	—	○	○	×	×	×	×	×	×	×	

付加機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A P	K A A	N A	ア ナ ロ グ N	I S D P	S I P 標 準	P H S 1 7 A 0 0	C 9 1 7 0	U M 1 7 0	備考
0508	発信者番号リダイヤル	この機能は、内線が発信者番号を受信している外線に回答した場合に、受信者番号をリダイヤルとして蓄積し、蓄積されたリダイヤルから発信することができる機能である。	○	○	-	-	○	△	△	○	○	○	○	○	○	
0509	発信者番号の通知拒否	この機能は、内線から外線へ発信する際、着信相手に通知する発信者番号を非通知にすることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0510	着信拒否(迷惑電話拒否)	この機能は、外線からの着信時、発信者番号非通知やあらかじめ登録しておいた電話番号から電話がかかってきた場合に、それらの着信を拒否することができる機能である。(EXはガイダンス送出機能なし)	○	○注1	-	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	注1:ガイダンスなし
0511	ネームディスプレイ情報表示	この機能は、着信時、網から“ネームディスプレイ情報”を受信することにより、F型多機能電話機およびF型漢字多機能電話機のディスプレイに“ネームディスプレイ情報”を表示できる機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
0513	発信者番号表示・規制	この機能は、ISDN外線/IP外線から受信した発番号/発サブアドレスを着信先のF型多機能電話機に表示する機能である(IP外線は発番号のみ対応)。また、ISDN外線/IP外線へ発信時、発信者番号を通知することができる。	○	○	-	-	○	○	△	×	○	○	○	○	○	
0521	秘書機能	この機能は、幹部電話機と秘書電話機を設定することで、幹部電話機への着信を自動的に秘書電話機に転送できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	注1:電話機からの秘書登録は不可
0522	秘書-話中転送	この機能は、幹部電話機が使用中の場合、幹部電話機への着信を秘書電話機に転送する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0523	秘書-離席転送	この機能は、幹部電話機の在席/離席状態を変更できる機能である。幹部電話機が離席状態のときは、該当幹部電話機への着信を秘書電話機に転送する。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0524	秘書-着信拒否転送	この機能は、幹部電話機への着信中に、幹部電話機の[在席/離席]を押すことで、着信を秘書電話機へ転送できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0525	秘書-応答遅延転送	この機能は、幹部電話機への着信に、幹部電話機が一定時間応答しなかった場合、秘書電話機に自動転送する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0526	代行操作	この機能は、秘書電話機からの操作で幹部電話機の在席/在席転送/離席状態を切り替えることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	

付加機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P 標 準	P S 1 7 A 0 0	C 9 1 7	U M 1 7 0	備考
0531	ドアホン収容	この機能は、システムにドアホン装置を収容することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	△	○	○	○	○	注1：ドアホンモニタ不可 注2：ドアホン呼出のみ可能
0532	放送結合	この機能は、発信者が、放送装置を使って相手呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	注1：一斉呼出は不可
0541	通話明細出力（旧0201 顧客アカウントコード）	この機能は、通話終了時に、通話した通話料金明細情報をS10またはLANへ出力する機能である。 通話料金管理装置をS10またはLANで接続することにより、通話料金の管理を行うことができる。 また、最大8桁のアカウントコードを、通話管理情報と共に出力することもできる。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	注1：明細打出しはできるが、アカウントコード登録不可
0542	予算管理	この機能は、MRG を使用して予算管理(予算無しの場合の外線捕捉規制/外線発信時の警告音送出)を行う機能である。	○	○	-	-	○	○	△	○	○	○	○	○	○	
0543	通話料金計算	この機能は、MRG を接続することにより、システム内で通話料金の計算を行う機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0544	通話料金管理	この機能は、通話料金情報を、内線、専用線入方路、予算管理グループ、ID 番号、システム、課金グループごとに課金集計する機能である。また、発信元に関係なく外線およびキャリアごとに課金を実施することもできる。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0545	長時間通話警報	この機能は、内線からの外線発信通話が一定時間経過するごとに警告音を送出する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
0546	専用線通話料金計算	この機能は、MRG を接続することにより、システム内で専用線の通話料金計算を行う機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0551	テナントグループ	この機能は、システムに収容されている各種回線、端末をテナントグループ分けし、各テナントグループごとの運用を実現する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0552	外線迂回発信	この機能は、外線発信時、自分が属するテナントグループの外線がすべて使用中の場合に設定された迂回テナントグループの空いている外線を使って発信できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

付加機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
							P								0	
0561	音声応答装置連動	この機能は、汎用の IVR(音声自動応答)装置をアナログ内線インタフェースに接続することができる機能である。(EX のみ提供)	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0562	応答メッセージ録音	この機能は、F 型多機能電話機から、以下のサービスに使用する音声ガイダンスを録音できる機能である。 ・付加番号 DID 応答ガイダンス ・転送電話サービス着信側/転送先ガイダンス ・着信ウエイトガイダンス ・留守応答ガイダンス ・選択転送時の応答ガイダンス	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	
0563	ハウラ音送出	この機能は、外受話器を掛け忘れた内線電話機に対して、一定時間後にハウラ音を送出する機能である。電話機のオンフック忘れの予防に使用する。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
0564	可聴音検出	この機能は、切断音(BT)を検出して、自動的にアナログ外線を切断する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ボイスメール機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ					ナ	シ	シ	9	M	
						セ					ロ	ロ	1	7		
						ス					グ	標	1	7		
						IP						準	A	0		
0609	伝言録音	この機能は、F型多機能電話機がボイスメールサービスにログインすることなく、 【伝言録音】 キーと宛先のメールボックスを指定するだけでメッセージを録音できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0610	録音転送	この機能は、外線／専用線／内線通話中に内線から 【伝言録音】 キーとメールボックス番号の操作により、指定した内線のメールボックスに転送し、通話相手が伝言メッセージを録音できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0611	ボイスメールサービス転送	この機能は、内線からの操作により、通話相手をボイスメールサービスに転送する機能である。転送された通話相手は、その後の操作によりボイスメールサービスを受けられることができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
0612	ボイスメールサービス	この機能は、ボイスメールにアクセスし、ガイダンスに従って操作することで、メッセージの再生や録音等を行うことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1：通話中PB送信可能端末であれば可能
0613	パスワード管理	この機能は、メールボックスの利用者(内線)毎に、ログイン時のパスワードを設定できる。これにより、他者の不正ログインを規制できる。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1：通話中PB送信可能端末であれば可能
0614	ワンタッチログイン	この機能は、内線からメールボックスに直接ログインし、メッセージ再生、消去等のサービスを受けられることができる。この機能がある事で 【MBX】 キーで自分宛のメッセージの再生がワンタッチでできる。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0615	メッセージ録音	この機能は、メールボックスにメッセージを録音できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1：通話中PB送信可能端末であれば可能
0616	メッセージ再生	この機能は、メールボックスに録音されているメッセージを再生・消去・保存できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1：通話中PB送信可能端末であれば可能
0617	メッセージ転送	この機能は、メールボックスに録音されているメッセージにコメントを付与して、ほかのメールボックスに転送できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1：通話中PB送信可能端末であれば可能

ボイスメール機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ					ナ	シ	シ	9	M	
						セ					ロ	シ	シ	1	7	
						ス					グ	シ	シ	1	7	
							P						標	A	0	
													準	A	0	
															0	
0618	メッセージ再生順 番選択	この機能は、複数のメッセージがある場合、再生順序を録音日時の新しい順で再生するか、古い順で再生するかを選択できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0619	メッセージ自動再 生	この機能は、ログオン時にメッセージがある場合、再生操作を行わず、ログオン直後に自動でメッセージを再生できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0620	メッセージ連続再 生	この機能は、複数メッセージがある場合、連続で再生できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0621	メッセージ自動保 存/消去	この機能は、未聴取メッセージを最後まで聴取した場合に、自動的に保存するか、消去するかを選択できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0622	メッセージ着信表 示	この機能は、メールボックスへのメッセージが録音されたことを F 型多機能電話機の [MBX] キーのランプ (赤点灯になる)、およびメッセージランプで表示する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0623	メッセージ着信通 知	この機能は、メールボックスにメッセージが録音されたとき、音声ガイダンスにより新着メッセージがある旨をメールボックス毎に指定した呼び出し先を呼び出すことにより通知する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0624	応答メッセージ管 理	この機能は、不在代行/外線着信代行用の応答メッセージをメールボックス毎に録音・再生・消去できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
0625	名前登録	この機能は、名前登録することで、音声 (名前) を聞いてメールボックスの確認ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0626	グループ同報録音	この機能は、グループ同報用のメールボックスにメッセージを録音することにより、複数のメールボックスに対して同時に同じメッセージを録音できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0627	外出先メールサー ビス	この機能は、外出先からメールボックスにアクセスし、メッセージの再生/消去/伝言録音などのサービスを受けることができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0628	操作ガイダンス	この機能は、ボイスメールサービスにログオン中、操作方法を音声ガイダンスで確認できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0629	ログオフ	この機能は、ボイスメールサービスからログオフすることにより、他のメールボックスにログオンまたは伝言録音サービスを受けることができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 通話中 PB送信可能 端末であら ば可能
											注 1					

ボイスメール機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
							P								0	
0630	複数言語ガイダンス	この機能は、ボイスメールサービスに使用するガイダンスに、複数の言語を使用できるものである。 使用する言語は、メールボックス毎に指定できる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0631	メッセージ保存期間指定	この機能は、メッセージを保存する期間を指定できる機能である。 指定期間を超過したメッセージは、自動的に消去される。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0632	メールボックス用電話帳	この機能は、メールアクセス中、通話録音中に電話帳からメールボックスを指定することができる機能である。	○	○	V8.1	-	x	○	x	x	x	x	x	x	x	

ボイスメール機能(CTstage連携)

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I P D P グ ラ フ ィ ク	S I P 標 準	P H S 1 7 A 0 0	C 9 1 7	U M 1 7 0	備考
0701	CTstageボイスメール機能連携	この機能は、音声メッセージの録音、読み出し等のサービスが行える機能である。	○	○	V8.1	-	○	○	△	-	-	-	-	-	-	
0702	通話録音(CTstage連携)	この機能は、内線が、外線・専用線と通話中に通話内容をボイスメールに録音できる機能である。	○	○	V8.1	-	○	○	△	×	×	×	○	○	○	
0703	着信自動通話録音(CTstage連携)	この機能は、多機能電話機、IP多機能電話機、PHS、アナログ電話機が、以下の場合、自動的に通話内容をボイスメールに録音できる機能である。 ・外線／専用線からの着信に回答した時 ・外線／専用線に発信し、相手が回答した時	○	○	V8.1	-	○	○	△	○	×	×	○	○	○	
0704	外線着信代行(CTstage連携)	この機能は、外線から着信があった場合、応答ガイダンスを通知した後、発信者のメッセージを録音できる機能である。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0705	不在代行(CTstage連携)	この機能は、着信先の内線が不在の場合、ガイダンスを通知した後、発信者がメッセージを録音できる機能である。 不在転送機能と連携して不在代行を行う。	○	○	V8.1	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0706	話中着信代行(CTstage連携)	着信内線が通話中の場合、ガイダンスを通知した後、発信者がメッセージを録音できる機能である。話中転送機能と連携して話中着信代行を行う。	○	○	V8.1	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	
0707	圏外代行(CTstage連携)	この機能は、外線着信、内線着信／専用線着信時、該当 PHS/WiFi 端末が無線圏外或いは電源 OFF の場合メッセージサービスへ自動接続する機能である。メッセージサービスが応答ガイダンスを送出した後、発信者がメッセージを録音できる。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	△	○	○	○	
0708	内線応答遅延代行(CTstage連携)	この機能は、着信(内線個別着信、一般系着信)に対して内線が一定時間未応答の場合、ガイダンスを通知した後、発信者がメッセージを録音できる機能である。	○	○	V8.1	-	○	○	△	○	×	○	○	○	○	

ボイスメール機能(CTstage連携)

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A P	K A	N A	ア ナ ロ グ N	I S D P	S I P 標 準	P H S 1 7 1 7 A 0 0	C 9 M 1 7 A 0 0	U M 1 7 A 0 0	備考
0709	伝言録音(CTstage連携)	この機能は、多機能電話機、IP 多機能電話機がボイスメールサービスにログインすることなく、[伝言録音]キーと宛先のメールボックスを指定するだけでメッセージを録音できる機能である。	○	○	V8.1	—	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0710	録音転送(CTstage連携)	この機能は、外線／専用線／内線通話中に内線から[伝言録音]キーとメールボックス番号の操作により、指定した内線のメールボックスに転送し、通話相手が伝言メッセージを録音できる機能である。	○	○	V8.1	—	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
0711	ボイスメールサービス転送(CTstage連携)	この機能は、内線からの操作により、通話相手をボイスメールサービスに転送する機能である。転送された通話相手は、その後の操作によりボイスメールサービスを受けることができる。	○	○	V8.1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
0712	ボイスメールサービス(CTstage連携)	この機能は、ボイスメールにアクセスし、ガイダンスに従って操作することで、メッセージの再生や録音等を行うことができる機能である。	○	○	V8.1	—	○	○	○	○	×	△	○	○	○	注1:通話中PB送信可能端末であれば可能
0713	パスワード管理(CTstage連携)	この機能は、メールボックスの利用者(内線)毎に、ログイン時のパスワードを設定できる。これにより、他者の不正ログインを規制できる。 また、外線からのボイスメールアクセス時に、発番号をチェックし、パスワードが必要な相手の場合にはパスワード入力要求することで不正アクセスを規制できる。	○	○	V8.1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1:通話中PB送信可能端末であれば可能
0714	ワンタッチログイン(CTstage連携)	この機能は、内線からメールボックスに直接ログインし、メッセージ再生、消去等のサービスを受けることができる。 この機能がある事で[MBX]キーで自分宛のメッセージの再生がワンタッチでできる。	○	○	V8.1	—	○	○	○	×	×	×	×	×	×	

ボイスメール機能(CTstage連携)

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P 標 準	P S 1 7 A 0 0	C 9 1 7	U M 1 7 0	備考
0715	メッセージ録音 (CTstage連携)	この機能は、メールボックスにメッセージを録音できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 通話中 PB 送信可能 端末であれば可能
0716	メッセージ再生 (CTstage連携)	この機能は、メールボックスに録音されているメッセージを再生・消去・保存できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 通話中 PB 送信可能 端末であれば可能
0717	メッセージ転送 (CTstage連携)	この機能は、メールボックスに録音されているメッセージにコメントを付与して、ほかのメールボックスに転送できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 通話中 PB 送信可能 端末であれば可能
0718	メッセージ再生順 番選択(CTstage連 携)	この機能は、複数のメッセージがある場合、再生順序を録音日時の新しい順で再生するか、古い順で再生するかを選択できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0719	メッセージ自動再 生(CTstage連携)	この機能は、ログオン時にメッセージがある場合、再生操作を行わず、ログオン直後に自動でメッセージを再生できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0720	メッセージ連続再 生(CTstage連携)	この機能は、複数メッセージがある場合、連続で再生できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0722	メッセージ着信表 示(CTstage連携)	この機能は、メールボックスへのメッセージが録音されたことを F 型多機能電話機の [MBX] キーのランプ(赤点灯になる)、およびメッセージランプで表示する機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
0723	メッセージ着信通 知(CTstage連携)	この機能は、メールボックスにメッセージが録音されたとき、音声ガイダンスにより新着メッセージがある旨をメールボックス毎に指定した呼び出し先を呼び出すことにより通知する機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
0724	応答メッセージ管 理(CTstage連携)	この機能は、不在代行/外線着信代行/話中代行/応答遅延代行/PS 圏外代行用の応答メッセージをメールボックス毎に録音・再生・消去できる機能である。	○	○	V8. 1	—	○	○	○	○	×	○	○	○	○	注1: 通話中 PB 送信可能 端末であれば可能
0726	同報グループ録音 (CTstage連携)	この機能は、同報グループ用のメールボックスにメッセージを録音することにより、複数のメールボックスに対して同時に同じメッセージを録音できる機能である。	○	○	V8. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

ボイスメール機能(CTstage連携)

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P	S I P 標 準	P H S 1 7 1 7 A 0 0	C 9 M 1 7 A 0 0	U M 1 7 A 0 0	備考	
0727	外出先メールサービス(CTstage連携)	この機能は、外出先からメールボックスにアクセスし、メッセージの再生/消去/伝言録音などのサービスを受けることができる機能である。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0728	操作方法ガイダンス(CTstage連携)	この機能は、ボイスメールサービスにログオン中、操作方法を音声ガイダンスで確認できる機能である。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0729	ログオフ(CTstage連携)	この機能は、ボイスメールサービスからログオフすることにより、他のメールボックスにログオンまたは伝言録音サービスを受けることができる機能である。	○	○	V8.1	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	注1：通話中 PB送信可能 端末であれば可能
0730	複数言語ガイダンス(CTstage連携)	この機能は、ボイスメールサービスに使用するガイダンスに、複数の言語を使用できるものである。 使用する言語は、メールボックス毎に指定できる。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0731	メッセージ保存期間指定(CTstage連携)	この機能は、メッセージを保存する期間を指定できる機能である。 指定期間を超過したメッセージは、自動的に消去される。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0732	内線呼び出し(CTstage連携)	この機能は、CTstageのメールサービス中に内線を呼び出すことができる機能である。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
0733	電話機タイトル/コメント登録(CTstage連携)	この機能は、通話録音中、メッセージ録音中にコメントキーを押下することにより、録音メッセージにコメントをつけることができる機能である。	○	○	V8.1	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
0734	メールボックス用電話帳(CTstage連携)	この機能は、メールアクセス中、通話録音中に電話帳からメールボックスを指定することができる機能である。	○	○	V8.1	-	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
0734	トールセーバ着信(CTstage連携)	この機能は、外線からメールアクセスを行う時、発信者番号に対応したメールボックスに新しいメッセージが登録されていない場合、一定時間応答しないことができる機能である。	○	○	V8.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ボイスメール機能(CTstage連携)

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P	S I P	P H S 標 準	C 9 1 7 1 7 A 0 0	U M 7 7 0 0	備考
0736	折り返し自動発信 (CTstage 連携)	この機能は、外線からメールアクセスを行う時、発信者番号に対応したメールボックスに新しいメッセージが登録されている場合、一定時間応答せず、切断後に発信者に折り返し発信を行ない、メッセージ内容を聞くことができる機能である。	○	○	V8. 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

端末收容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P N	S I P	P S 1 7 標 準 A 0 0	C 9 M 1 7	U M 1 7	備考
1001	アナログ電話機収容	この機能は、アナログ電話機を収容する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	注1：FAX連動不可
1102	外線状態表示	この機能は、外線／専用線の状態をF型多機能電話機の【回線】キーに2色(赤／緑)で表示する機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	
1103	着信呼種別表示	この機能は、着信があった場合に、一般外線、DIL外線、内線等の着信種別を電話機のディスプレイに表示する機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	
1104	内線ハンズフリー	この機能は、内線音声呼び出しに対して、電話機の【ミュート】キーが消灯している場合オフフックせずに通話することができる機能である。F型多機能電話機の場合は【トークバック】ランプが点灯している場合、オフフックせずに通話することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	
1108	漢字表示マルチキーテレホン収容	この機能は、F型多機能電話機を収容できる機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	
1110	F型数字多機能電話機収容	この機能は、F型多機能電話機収容パッケージを使用して、F型数字多機能電話機を収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
1111	F型漢字多機能電話機収容	この機能は、F型多機能電話機収容パッケージを使用して、F型漢字多機能電話機を収容できる機能である。	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
1112	F型24キー増設ユニット/集中受付装置収容	この機能は、24キー増設ユニット/集中受付装置(DSS)を使用して、F型漢字多機能電話機のフレキシブルキーを増やすことができる機能である。主に転送するためにオペレータ内線に使われる事が多い機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1113	F型状態表示盤収容	この機能は、状態表示盤を収容し、ランプによって外線の使用状況や着信を識別できる機能である。また、代理応答機能を使用し非鳴動電話機から応答もできる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1301	デジタルコードレス収容(PHS)	この機能は、RCR STD-28に準拠したデジタルコードレス機能(事業所用 PHS 機能)を提供する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1302	PHS 一斉着信	この機能は、一般系着信(一般着信、DGL着信、ドアホン着信)の際に、PHS 端末を他内線と同時に呼び出すことのできる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	
1303	PHS 圏外	この機能は、PHS 端末への着信時、該当 PHS 端末が無線圏外または電源 OFF の場合、設定により、その旨を音声ガイダンスで発信者に通知するか、自動的に転送を行う機能である。	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

端末収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I P	S I D E	P S D E S I G N	C 9 1 7 1 7 A 0 0	U M 1 7 0	備考	
1304	PHS 個別着信	この機能は、PHS 端末を個別に呼び出すことができる機能である。	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
1305	PHS 呼出信号音識別	この機能は、PHS 呼出時、呼種ごとに呼出信号を変えることで、着信者が着信呼種を識別できるようにする機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1306	PHS 発信	この機能は、PHS 端末から発信操作を行うことで、発信できる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1307	発信者番号通知	この機能は、PHS 端末へ着信時、発信者番号を通知できる機能である。また、ISDN 外線／IP 外線へ発信する際に、発信者番号を着信者に対して通知できる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1308	料金通知	この機能は、PHS 端末からの外線発信通話終了時、料金情報を PHS 端末に通知し、PHS 端末のディスプレイに表示することができる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1309	PHS 32Kbpsデータ通信	この機能は、PHS 端末間、PHS 端末 - ISDN 外線、そして PHS 端末 - ISDN 端末の接続において、32K 非制限デジタル通信を実現する機能である。	○	○	-	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	
1310	IP-Messaging 機能	この機能は、IP OFFICE 専用のメッセージングソフト (IPstage Messenger) を PC にインストールすることで、PC から PHS 端末に対して文字メッセージを送信する機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	注1: ライトメール機能搭載端末のみ可能
1311	PHS 位置情報表示	この機能は、F 型多機能電話機からの操作により、PHS 端末が位置登録している PHS 基地局の情報を表示する機能である。	○	○	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
1312	PHS データエア書き込み	この機能は、オンライン保守コンソールを使って、PHS 端末の設定ができる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1313	IP-BS 収容	この機能は、IP 対応 PHS 基地局を収容できる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1314	グループホーム機能	この機能は、アナログ電話機収容パッケージ (SLC) に緊急通報装置 (市販品) を収容し、PHS を呼び出す機能である。また、緊急通報装置の代わりに、ドアホンを使用することも可能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1315	BS 完全自動立ち上げ	この機能は、PHS 基地局収容パッケージ (CDLC) を収容し、PHS 基地局を接続して電源 ON、リセットすることで、PHS 基地局を自動的に立ち上げることができる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1316	PHS フッキング	この機能は、外線通話中に[フッキング]キーを押下することで、外線にフッキング信号を送出する機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	

端末収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K T / I P	K A A	N A	ア ナ ロ グ N	I S D P N	S I H S 標 準 A	P 9 1 7 1 7 0	C U M 1 7 0	備考	
1317	外線・コードレス 1:1 対応	この機能は、デジタルコードレスアダプタとして、PHS 端末とトランクを1:1に対応させて発着信サービスを実現できる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	
1318	PHS拡張機能	この機能は、グループ着信、パーク保留時にUM7700と連携することができる機能である。	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	
1403	IP多機能電話機 (MKT/IP3) 収容	この機能は、IP 多機能電話機“MKT/IP”を収容できる機能である。	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
1521	Com@WILL 端末収容	この機能は、フレックス表示機能・用件通知・ホワイトボード/AP共有・4者会議等の機能を備えた高機能ソフトフォン Com@WILL を収容する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1522	Com@WILL 端末収容 - 発信機能/着信機能	この機能は、Com@WILL から、内線/外線へ発信および内線/外線からの着信に対応できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1523	Com@WILL 端末収容 - 通話中ダイヤル	この機能は、通話中の状態から各(サービス特番)をダイヤルすることができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1524	Com@WILL 端末収容 - ダイヤル転送	この機能は、Com@WILL で、通話中に他の内線へ転送する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1525	Com@WILL 端末収容 - 特番サービス	この機能は、Com@WILL の特番ボタンを用いて、パーク保留、グループ代理応答、外線発信を行う機能である。また、アドレス帳に外線登録されている番号への発信時、自動的に特番を付加する。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1526	Com@WILL 端末収容 - アプリケーションサービス	この機能は、Com@WILL 間の相互の通話時に、Com@WILL 専用のサービスを利用できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1527	Com@WILL ハードフォン 連携 (スマートデュオ)	この機能は、IP OFFICE に収容された内線(ハードフォン)と Com@WILL を連携させることで内線(ハードフォン)が Com@WILL の機能を使用することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
1528	Com@WILL ハードフォン 連携 (スマートデュオ) - 登録機能	この機能は、Com@WILL からの操作で、ハードフォン連携の登録/解除ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
1529	Com@WILL ハードフォン 連携 (スマートデュオ) - 発信機能	この機能は、Com@WILL から発信することにより、ハードフォンで通話ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

端末収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ス	イ			グ	N		標	1	7	
							P						準	A	0	
																0
1530	Com@WILL ハードフォン 連携（スマートデュー） - 着信機能	この機能は、ハードフォン又は Com@WILL への着信時、ハードフォンの応答操作で通 話ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
1531	Com@WILL ハードフォン 連携（スマートデュー） - 転送機能	この機能は、ハードフォンが通話中の状態 から、Com@WILL の操作により転送ができ る機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
1532	Com@WILL ハードフォン 連携（スマートデュー） - 履歴蓄積	この機能は、ハードフォン連携中の発信/ 着信時の情報が Com@WILL の履歴情報に蓄 積され、それを使用して発信や転送ができ る機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
1533	Com@WILL - SFDC Adapter (Sales Force ネットワーク連携)	この機能は、Com@WILL と Salesforce.com (統合型オンデマンド CRM) と連携して、 Salesforce.com のコールセンタ端末とし て着信時に着信者の情報をポップアップ することができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1534	Com@WILL- Outlook Connector (Outlook連携)	この機能は、Com@WILL と Microsoft Outlook, Microsoft Excel, および Internet Explorer を連携させることで、 Outlook で受信したメール、Excel のセル 内容、Internet Explorer の電話番号表示 などから Outlook の連絡先や Com@WILL 電 話帳の検索を行ったり、検索結果、Excel のセル内容、Internet Explorer の電話番 号表示を用いて Com@WILL から自動で発信 したり、Com@WILL への着信時に発信者の 登録情報をポップアップ表示することが できる機能である。また、Com@WILL への 着信に無応答の時、発信者の登録情報をメ ールで通知することができる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1541	FOMA 端末収容	この機能は、SIP(Session Initiation Protocol) インタフェースを持つ、無線 LAN デュアル端末(FOMA デュアル端末) を、無線 LAN 配下で IP 電話機として収容 できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1542	FOMA 端末収容 - 発 信機能/着信機能	この機能は、FOMA デュアル端末から内線 /外線に発信および内線/外線からの着 信に応答できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1543	FOMA 端末収容 - 通 話中ダイヤル	この機能は、通話中の状態から各(サー ビス特番)をダイヤルすることができる機能 である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1544	FOMA 端末収容 - ダ イヤル転送	この機能は、通話中から他の内線へ転送す る機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1545	FOMA 端末収容 - キ ャンプオンリング ング	この機能は、通話中に転送保留操作を行 い、転送先の内線呼び出し中に転送する ことができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

端末収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	A	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ				ロ	D	P	S	1	7	
						ン				グ			標	1	7	
						ス							準	A	0	
						P									0	
1546	FOMA 端末収容 - 自己保留	この機能は、通話を一時保留する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1547	FOMA 端末収容 - 特番サービス	この機能は、FOMA デュアル端末から特番サービスを利用できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1548	FOMA 端末収容 - 圏外	この機能は、FOMA デュアル端末への着信で該当端末が無線圏外または電源 OFF の場合、その旨を音声ガイダンスにより発信者に通知する又は、圏外転送先を設定しておくことで、かかってきた電話を設定した相手に転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1549	携帯電話番号発信 自動内線接続	この機能は、FOMA デュアル端末へ発信時、携帯電話番号をダイヤルすることで、相手が社内にいるか、社外(圏外)にいるかを自動で判断し、社内であれば内線電話、社外であれば携帯電話に自動的に転送できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1561	au-WiFi 端末収容	この機能は、SIP(Session Initiation Protocol)インタフェースを持つ、au-WiFi 端末を無線 LAN 配下で IP 電話機として収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1562	au-WiFi 端末収容 - 発信機能/着信機能	この機能は、au-WiFi 端末から内線/外線に発信および内線/外線からの着信に回答できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1563	au-WiFi 端末収容 - 通話中ダイヤル	この機能は、通話中の状態から各(サービス特番)をダイヤルすることができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1564	au-WiFi 端末収容 - ダイヤル転送	この機能は、通話中から他の内線へ転送する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1565	au-WiFi 端末収容 - キャンプオンリング	この機能は、通話中に転送保留操作を行い、転送先の内線呼び出し中に転送することができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1566	au-WiFi 端末収容 - 自己保留	この機能は、通話を一時保留する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1567	au-WiFi 端末収容 - 特番サービス	この機能は、au-WiFi 端末から特番サービスを利用できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1568	au-WiFi 端末収容 - 圏外	この機能は、au-WiFi 端末への着信で該当端末が無線圏外または電源 OFF の場合、その旨を音声ガイダンスにより発信者に通知する又は、圏外転送先を設定しておくことで、かかってきた電話を設定した相手に転送することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

端末収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M I P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P	S I D P	P H D P	C S 1 7 1 7	U M 1 7 A 0 0	備考
1581	スーパーホンIP-V2 収容	この機能は、SIP(Session Initiation Protocol)インタフェースを持つ、スーパーホン IP-V2 を収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1582	スーパーホンIP-V2 収容 - 発信機能/ 着信機能	この機能は、スーパーホン IP-V2 から内線／外線に発信および内線／外線からの着信に応答できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1583	スーパーホンIP-V2 収容 - 通話中ダイ ヤル	この機能は、通話中の状態から各(サービ ス 特番)をダイヤルすることができる機能 である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1584	スーパーホンIP-V2 収容 - ダイヤル転 送	この機能は、通話中からほかの内線へ転送 する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1585	スーパーホンIP-V2 収容 - 自己保留	この機能は、通話を一時保留する機能であ る。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1586	スーパーホンIP-V2 収容 - パーク保留	この機能は、スーパーホン IP-V2 でパーク 保留をすることができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1587	スーパーホンIP-V2 収容 - 特番サービ ス	この機能は、スーパーホン IP-V2 から特番 サービスを利用できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1601	SIP 端末一斉着信	この機能は、一般系着信(一般着信、DGL 着信、ドアホン着信)の際に、一斉呼び出 し設定された、SIP 端末を他内線と同時に 呼び出すことができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	
1602	SIP 端末各種デー タ設定	この機能は、各種 SIP 端末(Com@WILL、FOMA 端末、AU 端末、ハードホン端末)の SIP(Session Initiation Protocol)インタ フェースに関するデータを設定すること ができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
1701	ISDN 端末収容	この機能は、一括発呼対応の ISDN 端末を 収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	

トランク収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P	S I P	P S 1 7 1 7 A 0 0	C 9 M 1 7 A 0 0	U M 1 7 A 0 0	備考
2201	アナログ専用線収容	この機能は、専用線で接続された他システムへ接続する機能である。 専用線の発信方法には、以下の2つがある。 ① 閉番号方式：直接内線番号をダイヤルする ② 開番号方式：回線捕捉後に相手番号をダイヤルする	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2211	FMCサービス (KDDI) 対応	この機能は、KDDI（ビジネスコールダイレクト）回線を収容することにより、契約した携帯電話と内線番号での発信、着信を行うことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2212	FMCサービス (docomo) 対応	この機能は、docomo（Office Link）回線を収容することにより、契約した携帯電話と内線番号での発信、着信を行うことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2213	FMCサービス (SoftBank) 対応	この機能は、SoftBank（ホワイトオフィス）回線を収容することにより、契約した携帯電話と内線番号での発信、着信を行うことができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2214	FMCサービス (WILLCOM) 対応	この機能は、WILLCOM 回線を収容することにより、契約した携帯電話と内線番号での発信、着信を行うことができる機能である	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2301	IP外線収容	この機能は、IP 外線キャリアと契約することで IP 外線キャリアが提供するVoIP(Voice over Internet Protocol)サービスを収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2303	IP外線収容 - 個別 発番号	この機能は、IP 外線へ発信する場合、内線毎に個別発番号を指定して発信することで、着信者に個別発番号を通知することができる機能である	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2304	IP外線収容 - セッショ ン監視	この機能は、通話中に通話相手とのセッションを監視することで、通話中に障害が発生した場合に、自動的に通信を切断する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2305	IP外線収容 - 迂回 発信	この機能は、内線から IP 外線へ発信できなかった場合、発信不可の理由により予め指定した発信方路の外線に自動的に迂回できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2306	IP外線収容 - ログ 収集機能	この機能は、IP 外線の通話ログ、トラフィックログを収集する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2307	IP外線収容 - 音声 圧縮方式	この機能は、通信時に使用できる音声コーデックと音声パケットの送信周期を選択できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2308	IP外線収容 - VoIP-PKG	この機能は、IP 外線対応のVoIP-PKG(VoIPU)を収容できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

トランク収容機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ				ロ	D	P	S	1	7	
						ン				グ	N		標	1	7	
						ス							準	A	0	
							P								0	
2310	IP外線収容 - 保守	この機能は、IP 外線の回線の状態などを保守コンソールで確認できる機能である。また、保守コンソールで IP 外線の導通確認をすることができる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2401	SIP専用線収容	この機能は、企業内ネットワークを利用して各拠点間を SIP で接続することにより、専用線機能と同じように接続することができる機能である。SIP 専用線は拠点間を VoIP で接続する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2402	SIP専用線収容 - IP OFFICE間接続	この機能は、SIP 専用線を使用して IP OFFICE 間を既存専用線と同じように接続可能とする機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2403	SIP専用線収容-IP OFFICE-SS9100接続	この機能は、SS9100 の IP 専用線網内に IP OFFICE を接続可能にする機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2404	SIP専用線収容 - PBデータ圧縮方式	この機能は、SIP 専用線網の拠点間を音声圧縮して通信する場合に、PB 信号もデータ圧縮方式 (RFC2833) で送信する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2405	SIP専用線収容 - 保留	この機能は、SIP 専用線経由で対向局と通話中の内線が保留操作を行った場合、対向局に保留通知を行う機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2406	SIP専用線収容 - 発番号通知	この機能は、SIP 専用線から着信時、着信先内線に、発番号 (通知番号) を表示する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2407	SIP専用線収容 - REGISTER	この機能は、対向局間で REGISTER を送受信することにより、対向局との接続可/不可を確認することができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2408	SIP専用線収容 - セッション監視	この機能は、対向局のセッションを監視することで、通話中に障害が発生しても、自動的に通信を切断できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2409	SIP専用線収容 - 音声圧縮方式	この機能は、SIP 専用線網の終端端末間で音声圧縮方式の交渉を行うことにより、SIP 専用線網の拠点間の音声コーデックと音声パケットの送信周期を決定する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2410	SIP専用線収容 - FAXデータ圧縮方式	この機能は、IP 専用線網の拠点間で FAX 通信を行う場合、IP 専用線網の拠点間の FAX データ圧縮方式 (T38) を実現する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2411	SIP-GW収容	この機能は、IP OFFICE と GW 装置を SIP 専用線で接続 (以降、SIP-GW 接続とする) することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2421	CTstageコールセンタ連携	この機能は、CTstage と IP OFFICE が連携することにより、コールセンタ機能を提供することができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2501	音声圧縮	この機能は、音声圧縮機能を持つ端末 (F 型多機能電話機、SIP 端末) 又は PHS と通話中に音声情報を圧縮して通話することができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

トランク収容機能

機能番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
						IP									0	
2502	帯域（規制）機能	この機能は、ネットワーク内のルートごとに、IP OFFICE が使用する帯域を一定値以内に制限する機能である。この機能により、IP OFFICE 以外で発生するトラヒックに対して、影響を押さえることができ、IP OFFICE システム内でも安定した通話を実現することができる。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2601	WAN側接続	WAN 側ネットワークへの接続と通信を行う。 (EX 未提供)	○	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2602	LAN側接続	LAN 側のネットワークにおいて通信を行う。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

保守・運用機能

機能番号	サービス機能名称	概要	M	E	Ver	ラ	M	K	N	ア	I	S	P	C	U	備考
			X	X		イ	K	A	A	ナ	S	I	H	9	M	
						セ	T			ロ	D	P	S	1	7	
						ン	/			グ	N		標	1	7	
						ス	I						準	A	0	
						IP									0	
3001	ユーザ設定	この機能は、電話機またはオンライン保守コンソールユーザ設定を使用して、自内線に関する設定を行う機能である。	○	○	-	-	○	○	△	×	×	×	×	×	×	
3002	簡単設定	この機能は、F型多機能電話機から電話帳、履歴、短縮ダイヤル等の情報操作や、電話機個々の設定ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
3003	PB遠隔保守	この機能は、外線からPB操作によって、各種モードの登録及び設定を行うことができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3011	システム番号計画	この機能は、システムの番号計画を1桁から4桁で任意に設定する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3012	自動データ生成	この機能は、IP OFFICE の電源がオンにされた際、接続された機器にしたがって、サービスに必要な局データを自動生成できる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	×	×	×	×		

保守・運用機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M P	K A	N A	ア ナ ロ グ	I S D P	S I D P	P S I D P	C S I D P	U S I D P	備考
3013	保守コンソール	この機能は、ブラウザベースのオンライン保守コンソールを使って、システムの各種設定を行う機能である。また、PC上にオフラインコンソールソフトをインストールすることにPC上で、データの設定、管理を行うこともできる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3014	電話機保守	この機能は、F型多機能電話機から設定内容の表示/変更、障害情報の表示等を行える機能である。	○	○	-	-	○	○	×	×	×	×	×	×	×	
3015	USBによる局データのDL/UL	この機能は、USBメモリを使って、局データのダウンロードやアップロードができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3016	遠隔保守	この機能は、インターネットを経由して、遠隔地からの保守作業ができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3017	通電中パッケージ交換	この機能は、システム運転中に、内線/回線系パッケージの交換ができる機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
3018	通話レベルの調整	この機能は、接続パッケージの種別に対応した最適な通話レベルを実現する機能である。	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3019	停電	この機能は、外付けバッテリーを接続することにより、停電になっても一定時間電源がバックアップされ、全ての電話機操作が可能となる機能である。またバッテリーの代わりに無停電電源装置を接続することも可能である。なお、停電時、バッテリーバックアップ停止後でも、停電用に指定した電話機により、外線との発着信が可能である。	○	○	-	-	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
3020	機器移動	この機能は、レイアウト変更等で席を移動する場合に、IP多機能電話機等のLANインターフェースを持つ端末を同一サブネット内で自由に移動することができる機能である。 IP多機能電話機、LUについては、サブネットをまたがる移動も可能である。	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
3021	ループバックテスト	この機能は、ISDN外線収容パッケージ(PRT、BRIT)に対して、以下の試験を実施する機能である。 ① Dchのループバック試験 ② Bchのループバック試験 ③ MDPTのループバック試験 これにより、パッケージの正常性を確認することができる。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3022	輻輳制御	この機能は、何らかの要因により輻輳状態となった際、自動的に新たな呼の発生を規制することで輻輳状態を回避する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3031	障害診断	この機能は、運用中にIP OFFICEに障害が発生した場合、自動的に検出し、障害表示ランプ等を使って通知できる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

保守・運用機能

機能 番号	サービス機能名称	概要	M X	E X	Ver	ラ イ セ ン ス	M K A A P	K A A	N A	ア ナ ロ グ N	I S D P N	S I P 標 準 A	P H S 1 7 1 7 0 0	C 9 M 1 7 0 0	U M 1 7 0 0	備考	
3032	NMSインターフェース	この機能は、NMS(Network Management System)からのSNMP要求に対し、要求されたオブジェクトの収集・設定を行いNMSに回答する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3033	トラヒック測定	この機能は、局データで指定した測定条件に従って、トラヒック情報を測定する機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3034	回線/電話機ステータス表示	この機能は、ブラウザベースのオンライン保守コンソールを使って、システムの回線および電話端末の状態表示ができる機能である。	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	